

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県

自治体名：山梨県

担当課名：教育庁保健体育課

電話番号：055-223-1783

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	4,465 km ²
人口	790,014 人
公立中学校数	79 校
公立中学校生徒数	18,239 人
部活動数	1,088 部活
都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

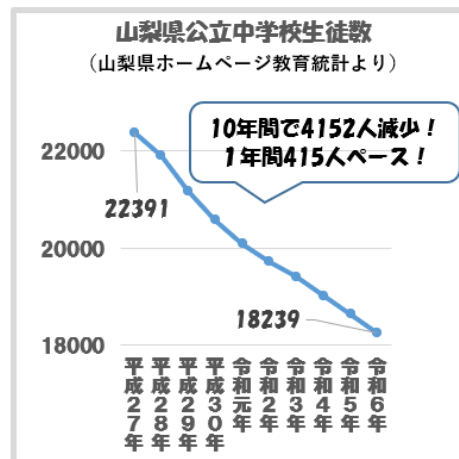
地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

県内には79校の公立中学校学校があり、生徒数は18,239人である。生徒数は10年間で4152人減少、1年間約415人減のペースである。来年度以降は、統廃合による学校数・生徒数の更なる減少が見込まれており、学校単位での部活動の持続が困難な状況にある。

各市町村では、地域の実情に応じた地域連携・地域移行の取組を推進しているが、体制整備が進んでいない地域が多く、特に**運営団体・実施主体の設置に苦慮している**。また、国の実証事業に取り組む市町村以外は、**コーディネーターや指導者等に関わる人材・資金の確保が**

できず、前へ進めない状況にある。県から体制整備に関わる支援体制を強化するなか、各市町村は、「市町村体制整備ロードマップ（下図）」を参考に、改革推進期間中STEP 3までの実行を進めている。

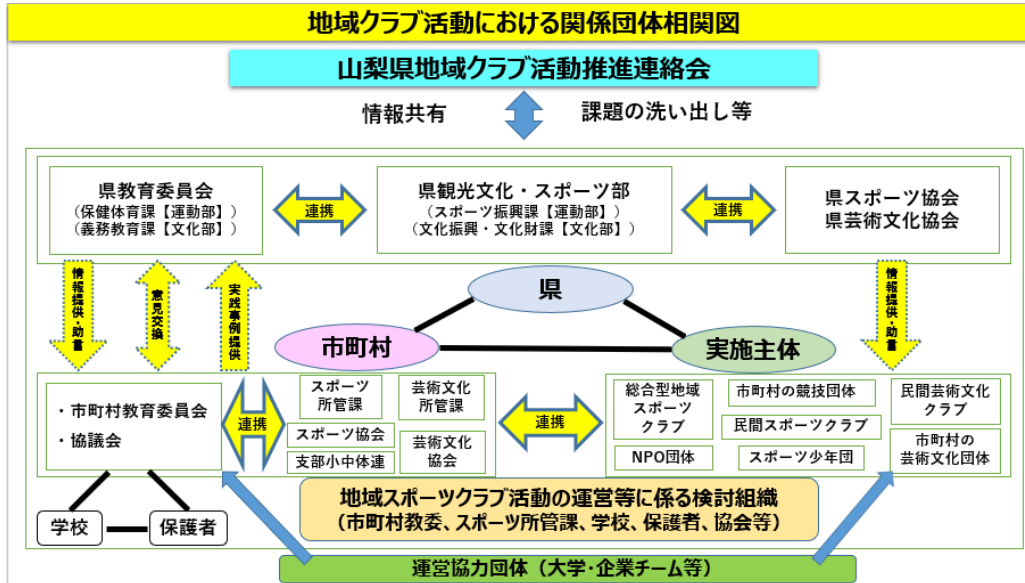
地域クラブ活動への移行の取組については、本事業を活用している7市町の取組を県内のモデル事例として情報共有をおこない、他市町村の取組推進の一助となっている。今後は、課題である「**具体的な情報発信と周知**」「**キーパーソンとなる専任者(コーディネーター)の確保**」を進め、県全体で取組を推進していく。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（都道府県における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・保健体育課 … 部活動改革の主幹、各市町村の体制整備等について指導助言ならびに支援、地域スポーツクラブ活動に関わる業務担当
- ・義務教育課 … 地域文化クラブ活動に関わる業務担当

◎首長部局

- ・スポーツ振興課 … スポーツ活動の運営団体や実施主体に関わる業務担当
- ・文化振興文化財課 … 文化活動の運営団体や実施主体に関わる業務担当
- ・財政課 … 予算措置に関わる業務担当

年間の事業スケジュール

- 令和6年4月～ ・県内全27市町村訪問
- 令和6年6月 ・第1回市町村担当者会開催
- 令和6年7月 ・第1回県推進連絡会開催
- 令和6年8月 ・第1回コーディネーター研修会開催
- 令和6年9月 ・第2回市町村担当者会開催
- 令和6年10月 ・第2回コーディネーター研修会開催
(先進自治体〔千葉県柏市〕視察)
- 令和6年11月 ・第3回コーディネーター研修会開催
(先進自治体〔長野県佐久穂町〕視察)
- 令和6年12月 ・第2回県推進連絡会開催
・第3回市町村担当者会開催
- 令和7年2月 ・第3回県推進連絡会開催
・「部活動の地域移行フォーラム」開催
・第4回市町村担当者会開催

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○県総括コーディネーターによる全市町村訪問の実施。各市町村の実態把握と体制整備推進に向けた指導助言等を行い、各市町村の実情に応じた取組をサポート。

○市町村コーディネーターの研修会を開催。コーディネーターの役割や業務内容、取組状況等について情報共有や課題の洗い出しを行う。また、先進自治体視察の実施。

取組の成果

○年度初めに全市町村訪問を実施したことにより、各市町村の体制整備が少しずつである前へ進んでいる。

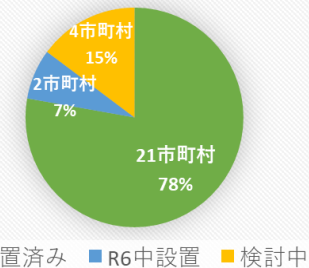
○「協議会等の設置」については、年度初めの11市町村(40%)から本年度中に23市町村(82%)に増加。

○「市町村コーディネーターの配置」については、年度初めの5市町村(19%)から8市町村(30%)に増加。

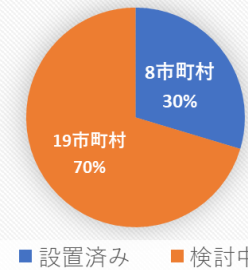
○コーディネーター研修会では、市町村コーディネーター以外に、これから配置を検討している担当者や育成を考えている担当者も参加し、情報共有等の貴重な場となった。

○コーディネーター研修会を兼ねた先進自治体視察を実施。千葉県柏市と長野県南佐久郡佐久穂町を訪問し、現地ならではの情報を見聞きし、知見を広げることができた。

協議会等の設置について



市町村コーディネーターの配置



出典：体制整備等進捗状況調査結果

コーディネーターの具体的な動きの実績

【県総括コーディネーター】

- ・県内全27市町村を訪問。地域の実情に応じた指導助言等を実施
- ・コーディネーター研修会の中心役として、会の進行・助言等を実施
- ・各市町村の協議会、説明会に参加し、指導助言等を実施
- ・各種団体の研修会、説明会に参加し、講師として情報発信等を実施

今後の課題と対応方針

- 運営団体・実施主体の設置に苦慮している市町村が多く、「各市町村の具体的な情報発信」や「段階的な地域クラブ活動への移行の取組」が進まない現状にある。
- 県からの支援強化及び本事業の活用を促し、各市町村の体制整備を更に推進させ、地域クラブ活動への移行の取組数を増やしていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

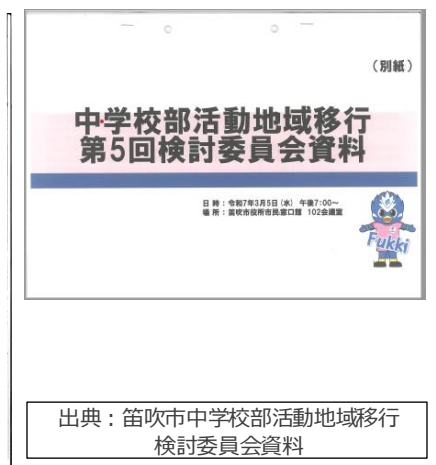
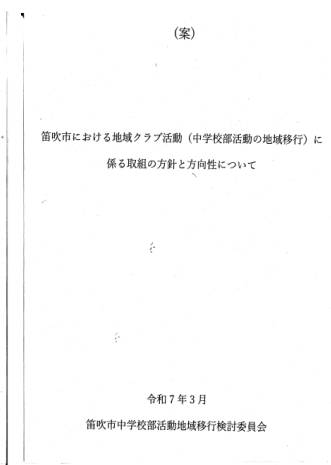
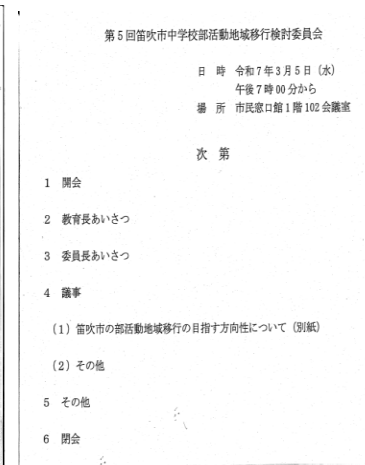
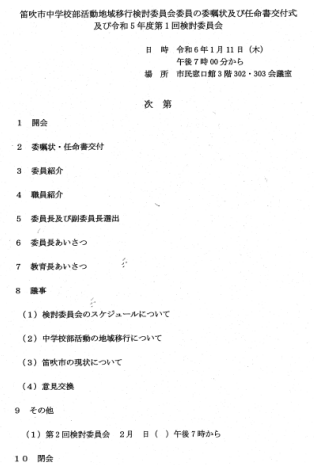
● 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備②

取組事項

- 市町村の出席依頼に対応し、県総括コーディネーターおよび県担当者が市町村協議会や検討会にて指導助言をおこなった。
- 多くの市町村において協議会等の初回に参加し、行政説明や指導助言をおこなった。部活動改革の理念や取組の周知と関係者との連携を深めた。
- 定期的に参加した市町村においては、より具体的な指導助言をおこない、体制整備推進を促した。

市町村検討会への定期的参加（笛吹市中学校部活動地域移行検討委員会）

- 昨年度1月に開催された第1回から本年度3月の第5回まで、アドバイザーとして県総括コーディネーターと県担当者が参加。大学有識者の座長のもと、市内の学校関係者やスポーツ・文化芸術関係者との協議をおこなった。
- 会の立ち上げから方針決定まで丁寧な議論がおこなわれ、参加者全員の共通認識・共通理解のもと、市の方向性が確認・決定された。検討会としての役目を十分に果たし、今後の協議会発展へつなげる会となった。



取組の成果

- 協議会等への参加により、関係者の生の声を聞くことができ、**地域の実情をより具体的な把握につながった。**また、県の説明や取組をより具体的に理解していただくと同時に、関係者との連携強化につながった。
- 笛吹市検討会への定期的な参加より、**市町村の取組の流れや実態を肌で感じる**ことができ、他市町村へ提供する貴重な情報となった。

今後の課題と対応方針

- 本年度、協議会等が未だに設置されていない市町村では、体制整備や情報発信等が進まず、県内における市町村間の差が広がっている。
- 来年度、県内全市町村で協議会等が設置される予定なので、**県から積極的に足を運び、これまでの貴重な情報を発信しながら、市町村の体制整備推進と情報発信の支援をおこなっていく。**

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 令和6年3月に「スポカルやまなし（やまなし地域クラブ活動等人材バンク）」を設置・運用開始。
- 市町村担当者会・スポーツ指導者協議会研修会・指導主事会等で「スポカルやまなし」の周知・登録の促進。
- ポスター・チラシを作成し、商業施設や大学、イベント等で周知活動。

人材バンクの人数

796名（2月末時点）

人材バンクの年齢構成

10代	253名
20代	309名
30代	38名
40代	42名
50代	32名
60代以上	35名
無回答	87名

登録者属性

性別では、男性558名、女性236名、無回答2名。職業では、学生・会社員・自営業・教員等が登録済みだが、大学との連携強化より、大学生の登録数が半数以上を占めている。

資格有無

各種目における有資格者は91名。種目はバレーボール・サッカー・バスケットボール・陸上競技等。指導経験者は179名である。また、教員免許取得者は49名、取得予定者は109名である。

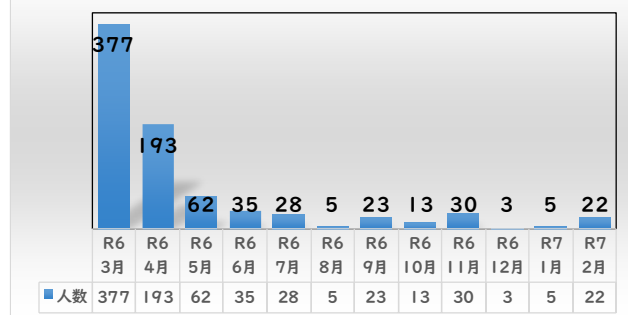
種目（延べ人数）

【運動系上位】	
・サッカー	195名
・陸上競技	101名
・バレーボール	94名
【文化系上位】	
・吹奏楽	19名
・書道	13名
・eスポーツ	10名

取組の成果・課題・対応方針

- 令和6年3月から運用開始し、1年間で約800人の登録者を確保することができた。ポスターやチラシによる周知をはじめ、研修会等での口頭による周知活動やメディアやSNSを活用した周知活動等の地道な活動が、指導者の量の確保につながった。
- 月別登録者数に目を向けると、運用開始直後のR6 3月～5月は、メディア等に多数取り上げられた効果が現れた。また、県内のスポーツ学部や教育学部の学生へ周知・登録を促したところ、多くの学生が登録し、数値を大きく伸ばすことができた。しかし、6月以降は数値の伸び悩みが続き、大学生以外の指導者数の確保が課題となった。
- 指導者の質の保障として、スポーツ部局及び関係団体との連携による指導者研修会の開催を考えていたが、実施に至ることができなかった。今後、「スポカルやまなし」に県内共通の指導者研修システム構築を目指し、「登録⇒受講⇒認定⇒地域クラブ活動で指導」の流れをつくっていききたい。

「スポカルやまなし」月別登録者数（人）



出典：スポカルやまなし登録状況より作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

大学との連携

○県では指導人材確保の取組として、スポーツ指導の専門性や資質・能力を有する大学生を確保することを想定しており、スポーツ科学部を有する山梨学院大学の事業、『山梨学院大学発「やまなしスポーツ指導者」養成プロジェクト』との連携をおこなった。

○地域スポーツクラブ指導者の養成・確保を目的とした研修会制度を構築し、「スポカルやまなし」を利用して「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」を行う県内各自治体への研修受講学生の派遣等の取組を行い、県内スポーツ指導者の「量」の確保と「質」の向上を目指した。

○研修講義システムを対面と遠隔（同時双方向型とオンデマンド型）の形式とし、山梨学院大学だけでなく、教育系学部を有する山梨大学や都留文科大学の学生にも声をかけ、プロジェクトへの参加を促した。

研修講義の参加実績

- ・参加人数：55人（男性30人・女性25人）
- ・学年別数：1年生17人・2年生17人・3年生17人・4年生4人
- ・大学別数：山梨学院大学15人・山梨大学30人・都留文科大学7人
- ・受講形態：面接形式8.2%・同時双方向型4.4%・オンデマンド型87.3%
- 全ての受講が完了し「やまなし地域スポーツクラブ指導者」として認定された45名が「スポカルやまなし」へ登録し、自治体とのマッチングを実施。

指導者研修の内容

○教育活動の一環として実施されてきた学校部活動の教育的意義を踏まえ、中学生へのスポーツ指導を実施する際に、指導者が最低限備えるべきであると考えられる知識や技能を取り上げた研修講義を以下の10科目選定した。

研修講義内容	
① これからの部活動の意義と運営方法	⑥ 発達段階に応じたコーチング
② スポーツにおけるICT活用	⑦ 発育発達に応じた体カトレーニング
③ 中学生アスリートのための食事	⑧ 心理的側面を考慮した指導
④ 安全・障害予防に関する基礎知識	⑨ スポーツ指導者の倫理・体罰やハラスメント根絶
⑤ 頭頸部外傷・熱中症予防と緊急時対応	⑩ スポーツの練習法・運動学習論

取組の成果・課題・対応方針

- 「スポカルやまなし」登録者45名のうち10名でマッチングが成立しており、14名がマッチング予定の状況にあり、2024年度内に派遣予定である。
- 両者を合わせると24名（53.3%）が、やまなしスポーツ指導者として中学生指導に関わることができ、量的確保を目指す取組として一定の成果を上げることができた。
- 今後このシステムを持続的に行い、質の保障を強化する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 県主催のフォーラムおよび県共催のワークショップを開催。部活動改革の周知・理解を促した。
- 県全体共通理解のもと進んでいくための重要な場である、県主催の市町村担当者会を年4回開催。
- 試行的な取組も含めて、地域の実情に応じた地域クラブ活動への取組実施を促した。

取組の成果と課題

- 部活動改革に対する具体的なかつ建設的な説明や意見が多く、参加者への周知・理解に繋がった。**
- 一般住民への周知を目的として開催したが、教員や関係者の割合が多かった。しかし、**県や市町村議員の参加もみられ、理解者・協力者の増加と、各市町村の体制整備の加速化に期待したい。**

部活動の地域移行フォーラム開催【県主催】

日時：令和7年2月18日（火）18：30～20：30

場所：山梨県立大学（飯田キャンパス）B館講堂 主催：山梨県教育委員会

内容：①基調講演（萩原智子氏：スポーツアドバイザー／元競泳日本代表） ②行政説明（県教委）
③事例紹介（新潟県佐渡市・青森県むつ市） ④パネルディスカッション

- 萩原氏より「スポーツ活動の認識を変えていかなければならない。勝利重視ではなく、スポーツ活動を通じた多くの学びと成長を重視した活動が求められている」ことを参加者に強く訴えていた。
- 佐渡市の「スキップ型・エンジョイ型」、むつ市の「むつ☆かつ」の事例をそれぞれの市担当者が説明。「市町村それぞれのやり方があるが、『子供たちがどうすれば楽しめるか』をゴールに置いて取り組むことが大切である」ことを伝えていた。
- パネルディスカッションより「誰もやったことのない改革だからこそ、建設的な意見やアイデアが必要！」

●参加者の声

地域移行を進めていくためには、誰かが粉骨砕身に頑張るのではなく、行政や学校現場、地域の保護者すべての尽力が必要であることを改めて強く感じました。 【20代 男性】

地域移行について各県、各市町村によって現状や条件が違い、各県でのやり方を見つけていかなければならないのだと思う。その中で指導の方向性などを合わせていけるよう自分自身も部活動地域展開に対してより理解する必要があると実感しました。 【20代 女性】

学校の部活動でその競技をしている生徒でなくても、地域クラブには参加できる。言い換えれば1人の生徒が複数の競技を経験できるというのはすごく良いことだと思います。それは生徒のアスリートとしての能力を伸ばすだけでなく、スポーツ環境の存続という意味でもあります。学校単位でのチームが難しくなりつつある現状からすると、1人がいろんな競技に挑戦できる、スポーツが好きな生徒が複数の競技を掛け持ちできることで、生徒の成長にとっても、競技人口の確保のためにも効果的だと思います。 【30代 男性】

不安を払拭していくには、先行事例について学んでいくことが不可欠であり、その積み重ねが大事であると感じました。 【60代 男性】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組②

取組事項

○県から各市町村独自の情報発信の推進を呼びかけ、昭和町でのワークショップ開催に結びつけた。

○昭和町が主催となり、教育委員会および地域クラブ活動運営団体が運営面全般を担った。

○**県は共催として、行政説明・グループワークのファシリテーター役を担い、連携・協働をおこなった。**



「地域で考える！部活動の地域展開と昭和町の新たな形づくり」ワークショップ開催【県共催】

日時：令和7年2月8日（土）9：00～12：45

場所：昭和町地域交流センター

主催：昭和町教育委員会、昭和総合型地域スポーツクラブ・キャメリア

共催：山梨県教育委員会

内容：①行政説明（県教委、昭和町教委） ②パネルディスカッション ③ワークショップ ④発表

○町内の多くの方々に参加してもらえるように、元山梨放送アナウンサーを司会者、地元出身の人気芸人をパネルディスカッションで招くなどの工夫をおこない、町内の中学生・保護者・教員・外部指導者・各スポーツ文化団体関係者、商工会関係者、役場職員、町外の関係者等、約150名が参加。

○参加者がそれぞれの立場でグループに分かれて意見を出し合うワークショップをおこない、グループのファシリテーターとして保健体育課、スポーツ振興課、義務教育課、各教育事務所より計12名参加。

○地域展開に向かう中で、良い点・課題点・できること・できないことがあるが、「未来の子供たちのために、どのような形が昭和町として良いのか」「どうすれば昭和町らしい形になるか」について、前向きな意見交換がおこなわれていた。

●参加者の声【商工会関係者グループ 男性】

現代的な指導法や情報提供を通じて、生徒と指導者が共に興味を深め、考えをアップデートしていくことが重要です。デジタルデバイス、オンライン動画、AIを活用はあらゆることで避けていくことはできません。それを活用し生徒個人が自発的に学び、課題解決できたらどうでしょう。スポーツは技術向上だけでなく、課題解決のプロセスを実感することが大切です。これは仕事にも通じるため、その流れを身につける仕組みがあれば面白いでしょう。スマホやオンラインコンテンツを安全に活用し、学ぶ楽しさをさらに広げたいと考えます。

取組の成果と課題

○様々な立場の方々が一堂に会し、それぞれの考えやアイデアを伝え合うことにより、これまでの固定概念や理解不足の解消につながった。また、多くのメディアにも取り上げられ、県や昭和町の取組周知・理解に繋がった。

○地域住民が求める各市町村独自の情報発信の推進が課題である。昭和町ワークショップのような取組実施を、他市町村へ促し、県としても伴走支援していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組③

市町村間の連携サポート

- 昨年度同様、県主催の市町村担当者会を年4回（6月・9月・12月・2月）参集およびオンライン開催し、国・県・各市町村の情報提供や情報共有の場となっている。
- 本年度は人口・学校数を基準にグループ分けをおこない、会の中でグループディスカッションの場を毎回設定。
- 同じ規模感の市町村担当者同士が意見交換等を行うことにより、具体的なイメージや方策等を見いだすことができ、体制整備や地域クラブ活動への移行の取組推進につながった。**
- 子どもたちのニーズに対応できな種目等に対して、近隣市町村との連携や県競技団体との連携等の具体的な方策を提示。

模擬地域クラブ活動

- 本事業を行っていない市町村に対して、試行的な地域クラブ「模擬クラブ活動」の実施を促した。
- 模擬クラブ活動の目的
 - ①地域クラブ活動を体験することを通して、地域クラブ活動への移行という社会課題に対する理解を含め、課題解決のため当事者の一員として参画していききっかけを作る。
 - ②市町村の取組を発信・周知する場とするとともに、参加者の声を聞くことにより、今後の取組へ活かす。
 - ③**小規模自治体の子どもの活動機会確保のため、広域的な市町村間の連携を促す。**

模擬地域クラブ活動（小菅村バスケット教室）の実践

日時：令和7年1月18日（土）@小菅村体育館

講師：山梨大学教育学部2年 秋田颯斗氏

山梨県スポーツ協会 早川通泰氏

参加者：中学生10名、小学生2名、大人5名（小中教員）

内容：○はじめの挨拶（県チラシ配布、事業説明等）

○準備体操、アップ、試しのゲーム、シュート練習、ゲーム

○おわりの挨拶（参加者の感想、アンケート）

○「最初はうまくいかなかったけど、指導してもらってうまくシュートが入った。とても楽しかった」【参加生徒の感想より】

○子どもたちが楽しんでいた様子を見て、「今後こういった指導機会があればやってみた」、「後輩を誘って、広めたい」【講師の大学生コメントより】

今後の課題と対応方針

○今回は単発事業だったが、継続事業としていくためには、**継続的な指導者や予算確保が必要となる。そのためには、大人の意識改革が必須。**

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- 本事業に取り組む市町村における、地域クラブ活動の運用や指導者配置等に必要なコストを分析。
- 地域クラブ活動に関わる収支構造（受益者負担等と公的資金とのバランスも含めて）の検証。
- クラブ活動における1クラブあたりの活動費と受益者負担について検証。

地域クラブに係る経費

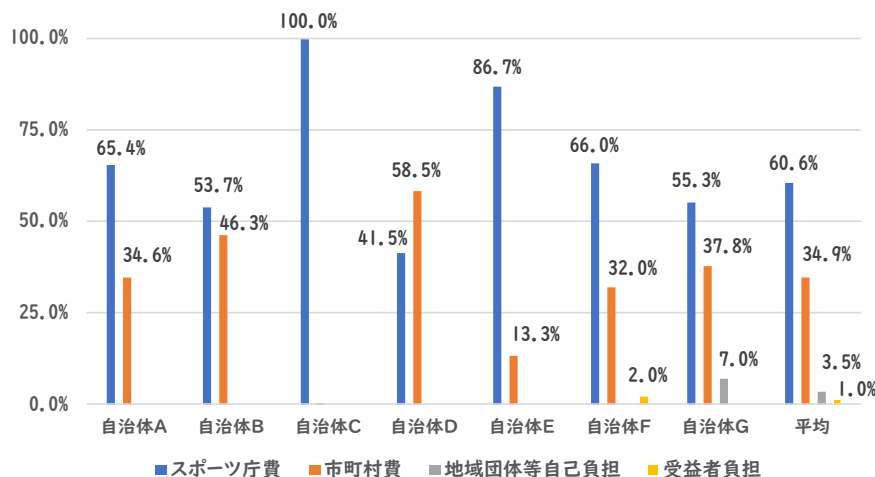
■収入に関する分析

- 将来的には自走していくことを念頭に行われている本事業において、国費とそれ以外のバランスに自治体ごとの特徴が現れていた。
- 各自治体において、計画時の割合で事業実施。平均は、国費60.6%・それ以外39.4%であった。地域団体等自己負担および受益者負担での収入があった自治体はそれぞれ1自治体のみであった。

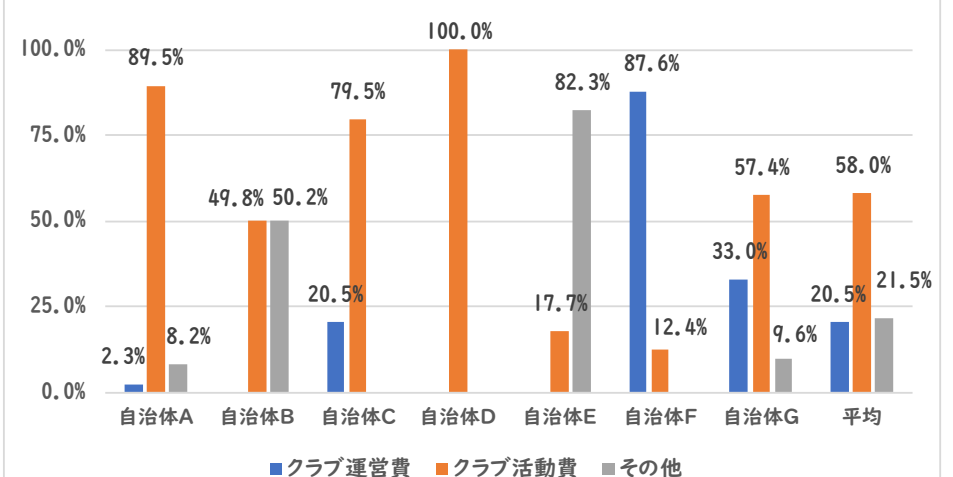
■支出に関する分析

- 支出においても、クラブ運営費・クラブ活動費・その他のバランスに自治体ごとの特徴が現れていた。
- 平均を見ると、クラブ運営費20.5%・クラブ活動費58.2%・それ以外21.3%であった。
- クラブ運営費の殆どが、コーディネータに係る費用であり、クラブ活動費の殆どが、指導者に係る費用および参加生徒と指導者の保険料であった。

収入内訳



支出種別



出典：市町村成果報告書より作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

収支バランス

出典：市町村成果報告書より作成

クラブ活動費関係	自治体A	自治体B	自治体C	自治体D	自治体E	自治体F	自治体G	平均
本事業クラブ活動費	¥1,421,389	¥546,940	¥1,213,510	¥1,103,265	¥291,144	¥376,908	¥1,243,059	¥885,174
実施クラブ数	8クラブ	12クラブ	9クラブ	8クラブ	1クラブ	6クラブ	7クラブ	7.3クラブ
1クラブあたりの活動費用	¥177,674	¥45,578	¥134,834	¥137,908	¥291,144	¥62,818	¥177,580	¥146,791
平均的な活動期間	7ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	2ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	5.5ヶ月
平均的な活動回数(月)	2回	3回	4回	2回	4回	2回	6回	3.28回
年間平均参加生徒実数(クラブ)	20人	10人	17人	8人	28人	20人	23人	18人

本年度の活動を1年間継続的に行った場合のクラブ活動に関わる試算

1クラブ1ヶ月あたりの活動費用	¥25,382	¥15,193	¥22,472	¥11,492	¥145,572	¥15,705	¥35,516	¥38,762
活動費確保に必要な会費(月)	¥1,269	¥1,519	¥1,322	¥1,437	¥5,199	¥785	¥1,544	¥1,868
活動費確保に必要な会費(回)	¥635	¥506	¥330	¥718	¥1,300	¥393	¥257	¥591

○持続可能な運営に必要な受益者負担額を探るため、各自治体のクラブ活動に関わる様々なデータから「1クラブ1ヶ月あたりの活動費」を算出。

○さらに活動費確保に必要な「月会費」および「1回の参加費」を算出したところ、平均は「月会費1,868円」・「1回の参加費591円」であった。

○県のアンケート調査結果では、月2,000円未満、1回500円未満を妥当と考える保護者が半数程度であったので、本年度については調査結果に近い金額で実施することができている。

取組の成果・課題・対応方針

○財政面の課題が数多くあるなか、県関係者や市町村担当者と共有することができる、県内貴重なデータを集約することができた。

○保護者にとって金銭面での不安に加え、送迎や引率などの保護者の負担増も重要なポイントである。**クラブ活動費の詳細の分析を続けると同時に、クラブ運営費についても実証・試算・分析を行っていく必要がある。**

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本年度は「改革推進期間」の2年目にあたり、昨年度よりも前へ進んでいくことが求められた年度であった。実際に、昨年度発足した「県地域クラブ活動推進連絡会」や「市町村担当者会」等の活動は、**昨年度以上に充実した重要な会となり、山梨県全体で共通理解・共通認識のもと進んでいくことができて**いる。また、様々な関係者や有識者、市町村担当者の声を聞く中で、県として市町村を伴走支援できる活動を模索していった。本年度は国の予算を追加要求し、当初の計画にはなかった「先進自治体視察（千葉県柏市・長野県南佐久郡佐久穂町）」「模擬クラブ活動への支援」「大学生派遣事業」「市町村ワークショップの支援」「県主催のフォーラム開催」をおこない、一定の成果につなげることができた。

具体的な数値目標として掲げた内容については、右に示した通りであるが、各市町村の体制整備等の進捗状況の差には、各市町村の人材（推進者や指導者など）や財源における地域の実情に大きな課題がある。この差を縮め、目に前の、未来の子供たちのために、山梨県全体でこの改革を進めていきたい。

●成果の評価

本年度掲げた達成目標は以下の通りである。

○市町村における協議会等の設置数 R5: 11市町村 ⇒ R6: 20市町村

○地域クラブ活動への移行の取組数 R5: 2市町村 ⇒ R6: 10市町村

○市町村HPでの情報発信実施数 R5: 2市町村 ⇒ R6: 10市町村

※目標達成の手立てとして「県総括コーディネーターによる全市町村訪問」「市町村コーディネーター研修会の開催」「県推進連絡会（年3回）・市町村担当者会（年4回）の開催」の取組を通して、各種情報の周知・共有および体制整備の推進を促した。結果として、「**協議会等の設置数は21市町村」「地域クラブ活動取組数は10市町村」「市町村HPでの発信実施数は6市町村**」であった。

※具体的な取組が進まなければ情報発信ができないので、各市町村が具体的な取組が行えるよう、今後も県として様々な取組を行い伴走支援していきたい。

●今後に向けて

○来年度は、改革推進期間の最終年度になるため、次の「改革実行期間」につながる取組を行っていかねばならない。そのため、来年度の県の方針として、以下の2つを掲げ、市町村の取組を促進していく予定である。

①**全市町村で「体制整備ロードマップSTEP3まで」実行達成**

②**全市町村で「地域クラブ活動への移行の取組」実施**

※上記方針への対応として、本年度おこなった取組をはじめ、+αの取組をおこない、具体的な達成目標等も掲げながら、山梨県内の部活動改革を更に推進していく。

2.実証内容と成果②

「スポカルやまなし（やまなし地域クラブ活動等人材バンク）」 広報活動

- 令和6年3月に設置・運用開始した「スポカルやまなし（やまなし地域クラブ活動等人材バンク）」を、県内の方々に周知するため様々な活動を行った。
- ポスター掲示：県内大学、商業施設、スポーツ・文化団体施設等
- チラシ配布：各市町村、各種研修会、プロスポーツ公式戦(サッカー・バスケット)等
- メディア等から発信：県公式ホームページ、県広報番組、県内ニュース、県内新聞、県教職員録等



【『スポカルやまなし』 広報資料】
 (やまなし地域クラブ活動等人材バンク)



【ヴァンフォーレ甲府ホーム開幕戦にてチラシ配布】



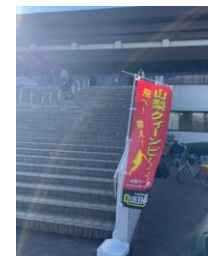
【県内大学にてポスター掲示】



【山梨県教職員録へチラシ掲載】



【山梨クインビーズホーム最終戦にてチラシ配布】



【商業施設にてポスター掲示】

参考資料（活動写真）



【山梨県地域クラブ活動推進連絡会】



【地域クラブ活動への移行に関わる市町村担当者会】



【「スポカルやまなし」大学生への説明会】



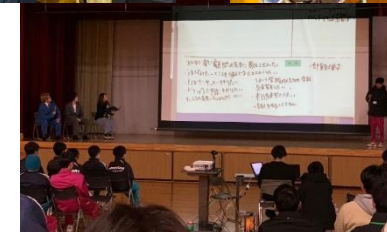
【地域クラブ活動（大学生指導者派遣事業）の様子】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【部活動の地域移行フォーラム開催【県主催】



「地域で考える！部活動の地域展開と昭和町の新たな形づくり」ワークショップ開催【県共催】

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

「改革推進期間」における山梨県の取組スケジュール

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(1) 検討体制の整備			
・推進連絡会の設置	→		
・推進連絡会の開催、検討	→	→	→
・県総括コーディネーターの配置	→	→	→
(2) 段階的な体制の整備			
・事例の提供	→	→	→
・市町村の運営団体、実施主体構築への助言	→	→	→
・財源確保等の助言	→	→	→
・広報、啓発	→	→	→
(3) 取組の促進			
・市町村担当者の開催	→	→	→
・市町村の取組状況の把握及び指導助言、支援	→	→	→
・アンケート調査の実施と情報共有	→	→	→
・広報、啓発	→	→	→
(4) 指導者の確保			
・事例の提供	→	→	→
・人材バンクの整備	→	→	→
・財源確保等の助言	→	→	→

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(5) 活動場所の確保			
・事例の提供	→	→	→
・県立運動施設の活用の検討	→	→	→
・財源確保等の助言	→	→	→
(6) 費用負担の軽減			
・事例の提供	→	→	→
・財源確保等の助言	→	→	→
・広報、啓発	→	→	→
(7) 地域クラブ活動についての理解の促進			
・広報、啓発	→	→	→
(8) 大会等の在り方についての協議			
・大会主催者への要請	→	→	→
・支援の在り方の見直し	→	→	→

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県 甲府市

自治体名：山梨県甲府市

担当課名：スポーツ課

電話番号：055-223-7325

1.自治体の基本情報

基本情報	
面積	212.47 km ²
人口	184,294 人 (R 6.4.30現在)
公立中学校数	12 校 (うち国立1校)
公立中学校生徒数	4,169 人 (うち国立422人) (R 6.5.1現在)
部活動数	164 部活 (うち国立14部活)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	検討委員会設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

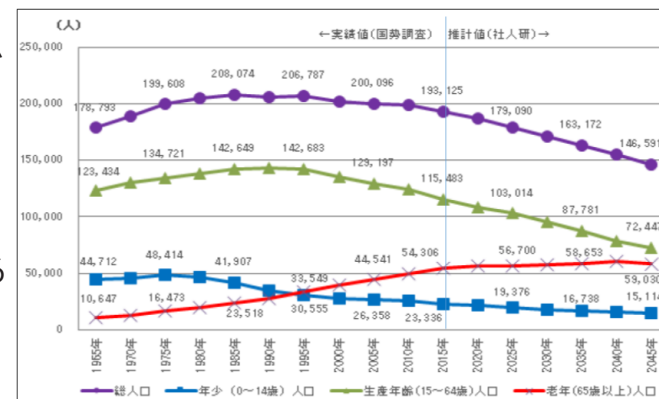
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】

- 少子化の影響に伴い、学校の小規模化が進行しており、野球やサッカーなど一つの学校の部員数では、集団種目のチーム編成ができず、他校との合同チームで活動する部活や、部員数の減少による廃部や休部が発生する事態となっている。
- 市立中学校の生徒数は、令和6年度の3,747人に対し、5年後の令和11年度では3,584人へと約4.3%減少する見込みである。また、甲府市人口ビジョン※1では令和22年までの間に、年少人口が更に約17.7%減少すると推計している。
- 中学校部活動の地域移行の在り方について検討し、円滑な移行やより良い環境づくりに繋げることを目的とした「甲府市中学校部活動の地域移行に関する検討委員会」を令和4年4月に設置。
- まずは、休日の学校部活動から地域移行するとし、令和6年度に3種目をスタートさせた。

【課題】

- 教員の多忙化はもとより、専門外の部活動顧問を行うことが教員の精神的負担となっているほか、生徒にとっても専門的な指導を受けることができない状況にある。
- 令和5年度に実施したアンケート調査結果をみると教員の8割が兼職兼業の「申請はしない」と回答しており、教員による地域クラブ指導者の確保は期待できない状況にある。
- 本年度地域クラブ指導者に委嘱した者の中にも自身の仕事が忙しくなってしまう、辞退する指導者も発生していることから、より多くの指導者を確保する中で輪番とする等の体制整備が必要。

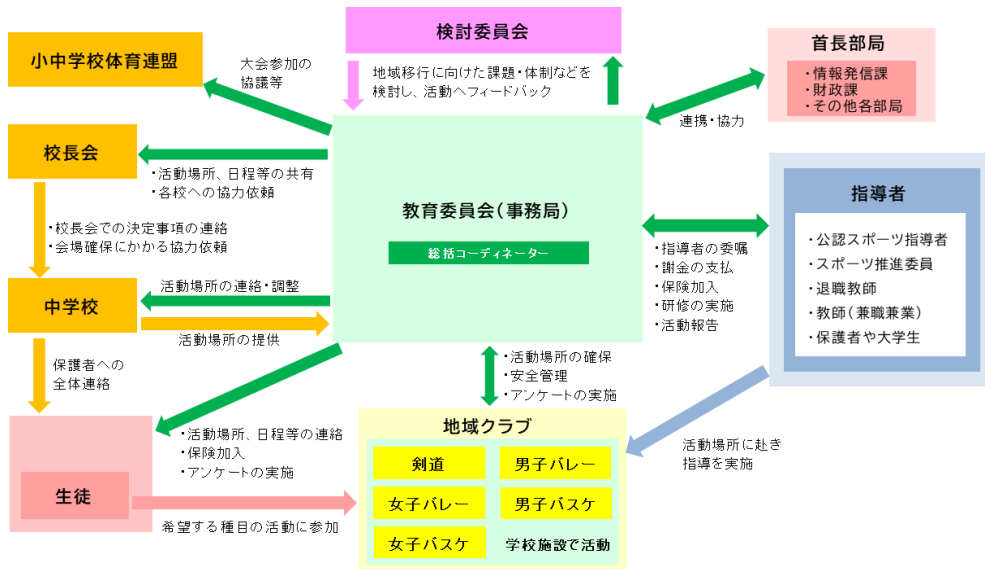


※1 甲府市人口ビジョン【令和2(2020)年改訂版】概要版

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・スポーツ課：地域クラブの運営を所管（指導者の確保・参加生徒の募集等について）
- ・学校教育課：部活動地域移行を所管（学校との調整・連携、学校に関する事項等について）

◎首長部局

- ・情報発信課：地域クラブ活動に係る情報発信の支援
- ・財政課：予算措置
- ・各部局：所管する施設の開放

年間の事業スケジュール

令和6年4月	剣道、バレー、バスケの地域移行決定 指導希望者の説明会の開催
令和6年5月	参加生徒の募集
令和6年6月	地域移行の種目代表者と打合せ
令和6年7月	第1回検討委員会開催 ・「地域クラブ活動」の実施種目 ・今後の予定 指導者の委嘱・研修会の開催
令和6年8月	地域クラブ活動を開始
令和6年9月	生徒の参加意向調査 (対象：小学校6年生、中学校1.2年生)
令和6年12月	第2回検討委員会開催 ・令和6年度「地域クラブ活動」の概要 ・国と県の動向 ・令和7年度参加種目希望調査の結果 ・今後の予定 「地域クラブ活動」に関わる教職員アンケート調査（対象：中学校部活動顧問）
令和7年2月	地域クラブに関するアンケート調査 (地域クラブ参加者、保護者、指導者) 第3回検討委員会開催 ・教職員アンケートの結果 ・令和7年度に向けた取り組み方針

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	15校（うち国立1校、私立3校）	実施した地域クラブ総数	8クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）	8クラブ（52部活）	
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）	0クラブ	
全体の指導者数	29人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動 場所	指導 者数	運営ス タッフ数 (他クラブ と兼務)	会 費	大会参 加方法
剣道クラブ	教育委員会	剣道	月 2回	9時～12時	1年生：18人 2年生：22人	8月24日～3月29日	西中	7人	5人	無	無
男子バレークラブ	教育委員会	バレー	月 2回	13時～16時	1年生：9人 2年生：14人	9月7日～3月29日	大里小	2人		無	無
女子バレー北クラブ	教育委員会	バレー	月 2回	13時～16時	1年生：14人 2年生：23人	9月7日～3月29日	千塚小	4人		無	無
女子バレー南クラブ	教育委員会	バレー	月 2回	13時半～16時半	1年生：13人 2年生：18人	9月7日～3月29日	城南中	3人		無	無
男子バスケクラブ (2クラブ合同)	教育委員会	バスケ	月 2回	9時～12時	1年生：42人 2年生：37人	9月7日～3月29日	北西中	6人		無	無
女子バスケクラブ (2クラブ合同)	教育委員会	バスケ	月 2回	9時～12時	1年生：52人 2年生：28人	9月7日～3月29日	上条中	7人		無	無

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- なし

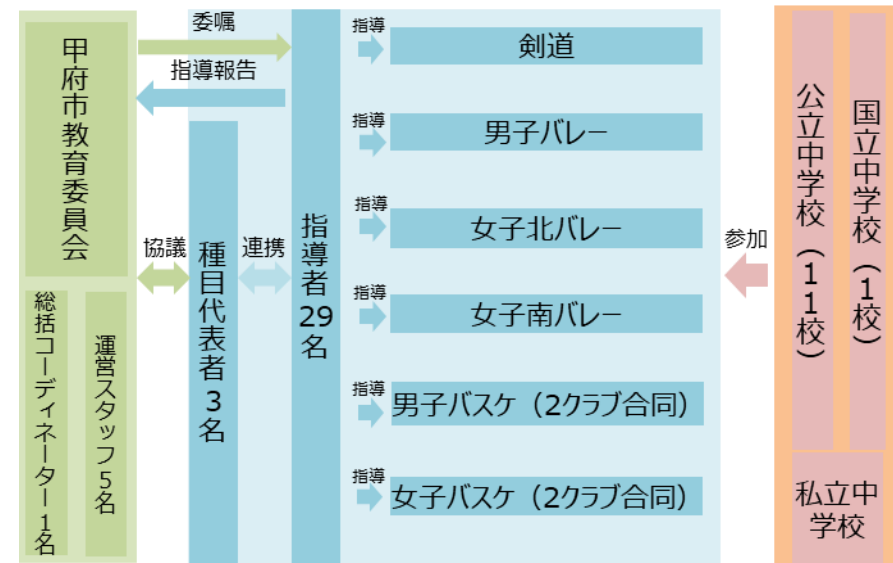
2.実証内容と成果

主な取組例

●甲府市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道 バレーボール バスケットボール
運営団体名	甲府市教育委員会（スポーツ課）
期間と日数	8月24日～3月29日 月2回程度
指導者の主な属性	スポ少指導者、兼職兼業教員 他
活動場所	甲府市立西中学校柔剣道場及び、 大里小学校体育館、他4校
主な移動手段	自転車、徒歩、車（送迎）
1人あたりの参加会費等（年額）	無
1人あたりの保険料	生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 （64歳以下） 指導者1人あたり：1,200円/年 （65歳以上）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 総括コーディネーター 1名
役割：学校、小中体連等スポーツ団体との連絡調整、検討委員会の開催等
- 運営スタッフ（スポーツ課職員）5名
役割：地域クラブの運営
- 種目代表者 3名
役割：教育委員会と協議及び各種目指導者への情報共有 等
- 指導者 29名
役割：地域クラブ参加生徒へ指導及び活動報告 等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ① 検討委員会を3回（6月、12月、2月）開催し、地域クラブ指導者の雇用形態、委嘱期間、業務、サービス等について意見を集約する中で指導者の取扱いについて検討を行った。
- ② スポーツ協会が管理する競技団体（以下「競技団体」という。）や学校等との連絡調整を行うため「総括コーディネーター」1名を配置（令和5年度～）
- ③ 地域クラブ活動の概要と教員の兼職兼業及び学校施設の利用と学校備品の利用等について、校長会・教頭会において依頼・説明を行った。
- ④ 教育委員会、参加生徒、保護者、指導者間の情報伝達や出欠の管理等の業務のICT活用を図るため、令和6年7月22日にサウンディング型市場調査を実施。
- ⑤ 活動中の事故等への対応を含む管理責任と賠償責任の主体の明確化を図るとともに傷害保険及び損害賠償保険の加入を義務化した。

取組の成果

- ① 令和6年8月に「甲府市休日地域クラブ設置及び運用要綱」を制定。当該要綱をもって、指導者への説明会を実施し、制度を周知した。
- ② 総括コーディネーターが、学校との連絡調整窓口となり、地域クラブで使用する会場の確保を行った。また、県が主催する研修会等に参加し、他自治体との情報交換及び情報共有を行った。
- ③ 教員の兼職兼業による指導者確保及び学校施設・備品の利用について一定の理解を得ることができた。
- ④ 地域クラブの運営に必要な機能、SNSの脆弱性を理解したほか、運営業務におけるICT本格導入に向けた実証実験を提案してもらった。現在、当該アプリを活用した実証実験を実施中。
- ⑤ 地域クラブの管理責任及び賠償責任の主体は教育委員会、活動に参加する全ての生徒及び指導者をスポーツ安全保険に加入することをルール化。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 学校施設利用に係る日程・会場調整
- 競技団体等への地域クラブ活動の概要・制度説明
- 公式大会出場に係る小中体連（専門部）との協議
- 検討委員会の開催、指導希望者説明会の開催
- 校長会及び教頭会へ取組状況の報告

今後の課題と対応方針

- 各種スポーツ団体等との連絡調整、指導者の確保・派遣、地域クラブ活動内容の周知等を円滑に行うため「（仮称）スポーツ協議会」の設置に向けた準備に着手する。
- 地域クラブ運営支援システムの実証実験の結果を取りまとめ、本格導入に向けた準備に着手する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

① 指導者人材の発掘：指導者確保に向けた競技団体との協議・相談を実施。

【競技団体】 剣道、バレーボール、バスケットボール

【協議内容】

- 「甲府市地域クラブ活動における指導者取扱要綱」で雇用形態等の概要を説明
 - 参加を希望する生徒の人数に応じて必要となる指導者数の確保（推薦）を依頼
 - 市内を4つのブロックに分けて実施することを基本とし、主な会場は市立の小中学校を使用することを説明
 - クラブ活動を実施するにあたり、必要となる備品及び消耗品の確認
 - その他、地域クラブ活動に対する意見や要望を聴取
- ② 安全・安心な活動の実施に関する取組：地域クラブ参加生徒が安全で安心な活動を行うために、天候等に関する警報や災害の発生、活動中の事故等、緊急時における「地域クラブ活動」の実施判断基準や対応に係わる基本的な考え方を整理した。
- ③ 地域クラブにおいて指導を希望する者を対象とした説明会を実施。
- ④ 地域クラブ指導者（委嘱者）を対象に指導者研修会を実施。

取組の成果

- ① 各競技団体から指導者を推薦していただき、必要な指導者数を確保（委嘱）した。
- ② 「甲府市中学校地域クラブ活動危機管理マニュアル」令和6年7月に策定。
地域クラブ活動中の事故等緊急時における判断基準など地域クラブ活動に係わる基本的な考え方について指導者へ周知。
- ③ 地域クラブで指導を希望する者24名の参加があった。詳細は、次ページ参照
- ④ 指導者30名の参加があった。詳細は、次ページ参照

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

③【甲府市中学校「地域クラブ活動」関係者説明会】

- ・対象：地域クラブで指導を希望する者
- ・目的：本市の地域クラブ活動の趣旨・目的について、理解してもらい指導者の確保に繋げる。
- ・内容：地域クラブで指導を希望する者を対象に説明会を実施した。

地域クラブ推進の背景（国・県ガイドラインの説明、）甲府市の地域クラブ活動の概要、学校部活動の実施状況、教員の兼職兼業 他

④【甲府市中学校「地域クラブ活動」指導者研修会】

- ・対象：地域クラブ指導者
- ・目的：指導者の役割や心得について理解を深める。
- ・内容：地域クラブ指導者に対して指導者研修会を実施した。
JSPOが発行している「ケーススタディから考えるグッドコーチングWork book」を用い、プレーヤーのミスに対するコーチング、保護者との関係性の構築、フェアプレー、セクハラ等について説明を行った。

指導者研修の参加実績

- ③ 開催日：令和6年4月6日
参加数：24人（指導希望者）
内 訳：剣道1、バスケ10、バレー11、バドミントン1、リズム体操1
- ④ 開催日：令和6年7月31日、8月1日、8日（3回）
参加数：30人（地域クラブ指導者）
内 訳：剣道7、バスケ12、バレー11

受講者の声

「同じ地域の子供たちのために指導がしたい。」

⇒競技団体と協議し、同じ地区で継続した指導ができるように進める。

「学校と連携して地域クラブ指導者に生徒の情報を共有してほしい」

⇒個人情報関係上注意が必要。健康管理上のことに関しては保護者から情報提供してもらう必要がある。

「大学との連携を進めてほしい」

⇒山梨大学、山梨学院大学等との連携を進める。

「平日の部活動と週末の練習との連携はどうするのか」

⇒必要に応じて地域クラブ指導者と顧問が連携し活動の充実を図る。

今後の課題と対応方針

- 今後、地域クラブ指導者が増加することに伴い、指導者全員が参加できる研修会場の確保や開催時間の設定などが難しくなる。そのため、オンライン研修の開催を検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- スポーツ協会・競技団体・総合型地域スポーツクラブ・大学・企業との連携
 検討委員会：令和8年度までに、全ての休日学校部活動を地域クラブに移行することを目指し、部活動の移行方法やクラブの運用方法を検討。
 スポーツ協会・競技団体：競技団体と、「指導者確保」、「活動場所（実施会場）」、「活動に必要な備品」、「その他意見や要望」について協議。
 総合型地域スポーツクラブ・大学・企業：未実施

取組の成果

- 令和7年度に地域移行する予定の競技団体と協議を実施したことで地域クラブを実施するための課題等（表1）を聴取することができた。

今後の課題と対応方針

- 競技団体と表1の課題解決に向けて、協議を行い地域クラブへの移行を推進する。
- スポーツ推進委員と連携し、運動部活動に所属していない生徒や運動が苦手な生徒に対し、運動の大切さや体を動かすことの楽しさを感じてもらえるスポーツ体験機会の場を創出する。
- 指導者確保等が困難になることが考えられるため、今後、指導総合型地域スポーツクラブ、大学、企業と連携を強化し、持続可能な地域クラブ運営体制を図る。

表1

課題等
① <u>会場（学校）コンディションに問題があるため、民間施設等を利用をしたい。</u>
② <u>参加者する生徒の技術レベルが異なる場合、レベルに応じた指導方法が確立できない。</u>
③ <u>参加生徒のレベルに合わせて、クラス分けをしてもらいたい。（競技力強化を目指したい）</u>
④ <u>地域クラブ参加人数・会場数に応じた指導者の確保ができない。</u>
⑤ <u>指導者がボール等の備品を管理・運搬することは困難。学校の備品を使わせてもらいたい。</u>
⑥ <u>多くの教員に指導者として参加していただきたい。</u>
⑦ <u>スポーツ少年団との合同練習を許可してもらいたい。（指導者の時間が限られるため）</u>
⑧ <u>スポーツ少年団のように保護者の支援（保護者会の設置）を検討してもらいたい。</u>
⑨ <u>学生指導者（大学生）の活用を検討して欲しい。</u>
⑩ <u>練習だけではなく子どもが試合に出場する機会（練習試合）を許可して欲しい。</u>
⑪ <u>関東大会や全国大会に出場する際、指導者の引率費用は市で負担してほしい。</u>

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 中学校に通うすべての生徒が地域クラブに 参加できるように、市内4ブロックに分割するルールを定めた。【表1】
- 複数の市町村による広域的な取組は未実施。

取組の成果

- 1会場あたりの参加者上限数を概ね40名としていることから、4ブロックでの設置には至らなかった。
剣道（1クラブ）、男子バレー（1クラブ）、女子バレー（2クラブ）、男子バスケ（2クラブ）、女子バスケ（2クラブ）

今後の課題と対応方針

- 令和8年度を目途にすべての休日運動部活動を地域クラブに移行するとしているが、参加する生徒数が定まらないため、引き続き、生徒の参加数等に応じて、柔軟に対応していく。
- 中核市として周辺市町と連携するなかで、生徒の受入れを検討する。

【表1】

参加者数に応じ市内4つのブロックに編成

A 地区
東中学校 北東中学校
山梨大学附属中学校

B 地区
西中学校 北中学校
北西中学校

C 地区
南中学校 南西中学校
富竹中学校

D 地区
城南中学校 上条中学校
笛南中学校

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

①『甲府市中学校「地域クラブ」予備調査』

目的：地域移行する種目を検討するにあたり、「地域クラブで参加したい活動」についてアンケート調査を実施した。

対象：小学6年生から中学2年生（3,715人）

調査期間：令和6年9月2日～6日

調査方法：グーグルフォームアンケート機能を利用したWEB調査

②『地域クラブ活動に関するアンケート』

目的：令和6年度の地域クラブ活動に対する意見や要望についてアンケート調査を実施した。

対象：生徒292人、保護者292人、指導者28人

調査期間：令和7年2月3日～16日

調査方法：市公式HPのアンケート機能を利用したWEB調査

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

①『甲府市中学校「地域クラブ」予備調査』

アンケートを実施したことで、地域クラブ活動で行いたい種目や参加希望者数を把握することができた。（表2参照）

児童・生徒の声

- 楽しく、仲間と協力する地域クラブであってほしいです。
- 誰でも意見が言えるような雰囲気での地域クラブ活動であってほしい。
- 技術向上に繋がる練習をしてほしい。
- 大会に出場できる地域クラブ活動。
- 障害者の方も楽しめるような自由なクラブ活動がいいと思います。
- 知らない学校やあったことのない友達などと話す機会ができる地域クラブ活動。
- 普段かかわらないような人とも仲良くなれて、得意不得意関係なく楽しめる地域クラブ活動。
- 経験豊富な人に教わりたい。優しく、わかりやすく教えてほしい。
- まだやったことのないスポーツをできるような地域クラブ活動であってほしい。

（表2）地域クラブ活動に参加したい種目

バドミントン	299名	9.0%
バスケットボール	268名	8.1%
サッカー	213名	6.4%
バレーボール	184名	5.6%
吹奏楽	172名	5.2%
ソフトテニス	165名	5.0%
卓球	142名	4.3%
テニス	130名	3.9%
その他	127名	3.8%
野球・陸上	各118名	3.6%
剣道	81名	2.5%
ハンドボール	38名	1.1%
柔道	33名	1.0%
ソフトボール	18名	0.5%

今後の課題と対応方針

- ① 今回のアンケート調査で地域移行していない種目について、競技団体と協議し、地域移行を進めていく。そのほか、アンケート調査で「その他」（ラグビー、ダンス、スケートボード等）を選択した子どもたちのニーズに応えるため、様々なスポーツが体験できるマルチスポーツクラブの設置も検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

② 『地域クラブ活動に関するアンケート』

地域クラブ活動に参加する生徒、その保護者、指導者から様々な意見や要望を聞き取ることができた。
詳細は次ページを参照

今後の課題と対応方針

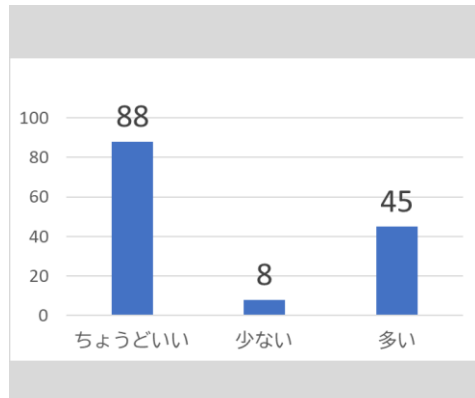
- ② 参加する生徒からは、「基礎練習ばかりで物足りない」、「ゲーム形式の練習がしたい」、「練習会場が遠く親が送迎しないと参加できない」など改善要望が寄せられた。
今後は、これらの課題に対し解決を図りながら、ニーズに応じた地域クラブ活動を目指す。

2.実証内容と成果②

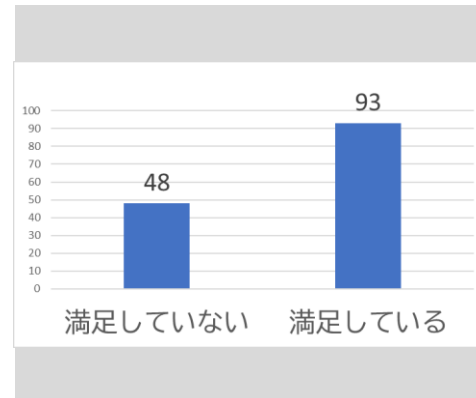
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（参加生徒あて）※速報値

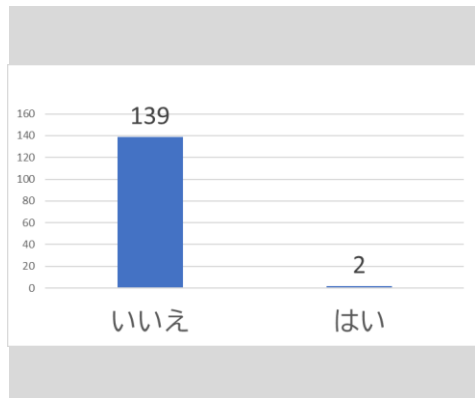
Q.あなたは月2回の練習回数についてどう思いますか？



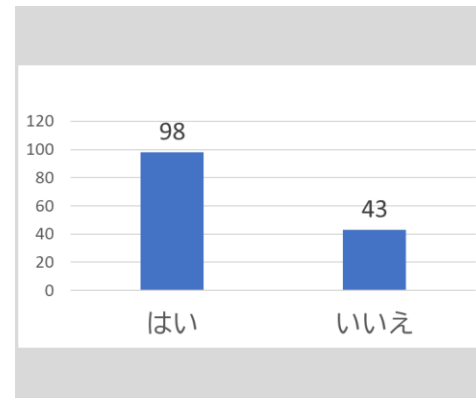
Q.あなたが参加している地域クラブの練習内容について満足していますか？



Q.連絡アプリの「チーム連絡」機能を利用して不便に感じたことはありますか？



Q.令和7年度も引き続き地域クラブに参加したいですか？



甲府市地域クラブ活動に関するアンケート（実施期間：令和7年2月3日～16日）の結果抜粋

●参加生徒の声

会場について

- ・徒歩や自転車で通える会場にしてほしい。
- ・月ごとに会場を変更してほしい。
- ・親が送迎できないときは参加できなくなってしまう。
- ・練習会場が狭い。

連絡アプリについて

- ・参加できなかった時の練習で技名だけじゃわかりにくいので動画を見れるようにしてほしい。

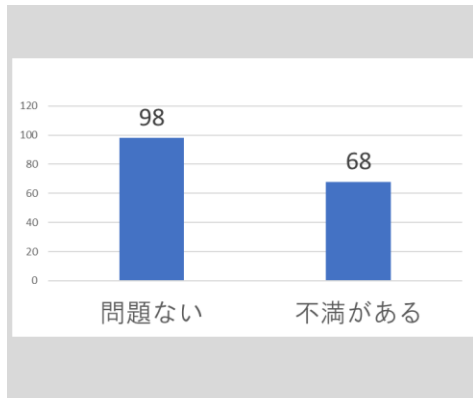
地域クラブ活動に対する要望や意見

- ・バレー部はみんなで長縄跳びをするなど、楽しい事をしていたので、バスケも、取り入れて欲しいです。
- ・学校で練習がしたいので地域クラブ活動がある日でも学校で練習ができるようにしてほしいです。
- ・時間をもう少し早くしてほしいです。
- ・地域クラブがある週でも部活動をしている中学校があるから統一してほしい。
- ・先生たちの負担を考えながらの取り組みだと思うが、学校の部活動もこれまでと同じようにやっていきたい。だから、これからも月2回程の頻度でやって欲しい。
- ・地域移行のある週は部活はダメという制限があると学校の部活に専念できないから他の中学校と差ができてしまうから部活の制限はしないでほしいです。

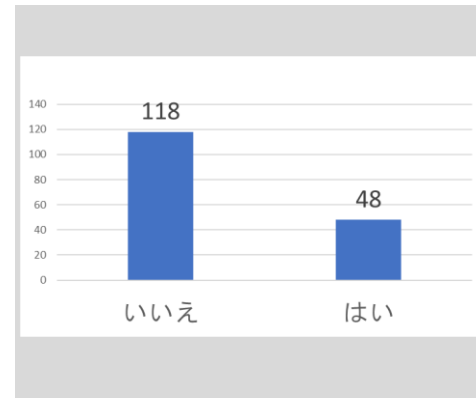
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（保護者あて）速報値

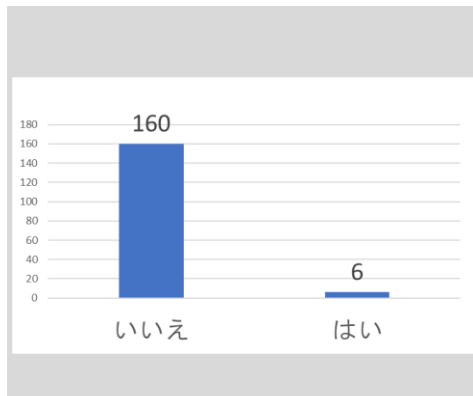
Q.お子さんが通う練習会場についてお答えください？



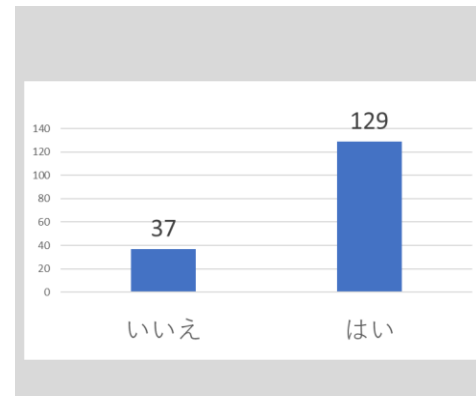
Q.地域クラブ活動に保護者会の設置は必要だと思いますか？



Q.連絡アプリの「チーム連絡」機能を利用して不便に感じたことはありますか？



Q.令和7年度も引き続き地域クラブに参加させたいですか？



甲府市地域クラブ活動に関するアンケート（実施期間：令和7年2月3日～16日）の結果抜粋

●参加生徒の保護者の声

会場について

- ・会場が遠いので月ごとに変更してほしい。
- ・徒歩や自転車で通えるようにしてほしい。
- ・見学可にしてほしい。

保護者会の設置について

- ・いつでも保護者が見学出来るよう設置してほしい。
- ・参加者が少ない場合、練習に協力することができる。
- ・仕事や家事で時間がとれない。
- ・子どもの自立心を育てる為、設置は不要。

連絡アプリについて

- ・その日の練習メニューを記載してほしい。
- ・参加人数などがわかるようにしてほしい。
- ・通知音が欲しいです。
- ・活動前日に連絡があると助かる。

地域クラブ活動に対する要望や意見

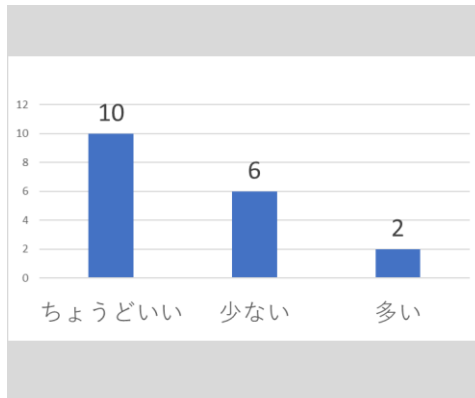
- ・経験者も初心者も楽しめる練習。
- ・気分転換に鬼ごっこ、体感を鍛える運動等、参加種目以外の運動を取り入れてほしい。
- ・参加者のレベルに応じた練習をしてもらいたい。
- ・学校の部活動だけでは足りない練習やアドバイスをして頂けると嬉しいです。

2.実証内容と成果②

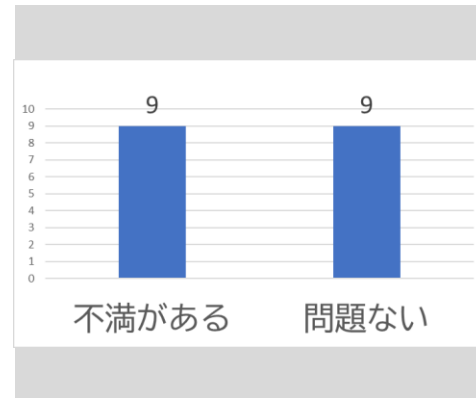
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（指導者あて）※速報値

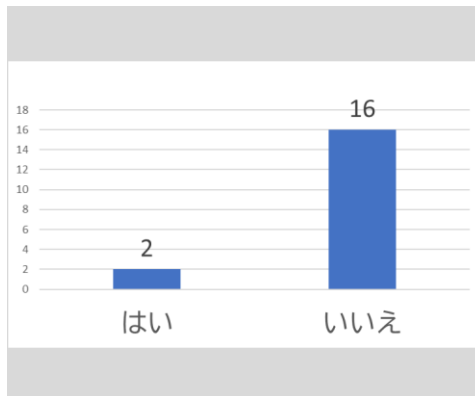
Q.あなたは月2回の練習回数についてどう思いますか？



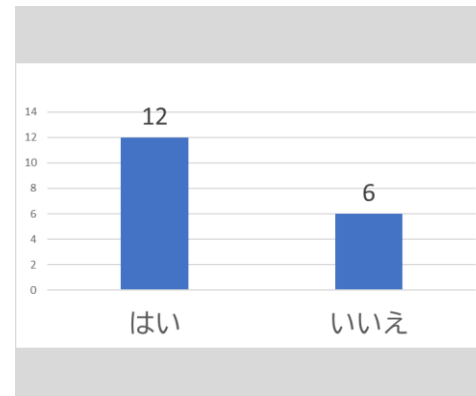
Q.あなたが指導している練習会場についてお答えください



Q.連絡アプリの「チーム連絡」機能を利用して不便に感じたことはありますか？



Q.令和7年度も引き続き地域クラブで指導をつづけたいですか？



甲府市地域クラブ活動に関するアンケート（実施期間：令和7年2月3日～16日）の結果抜粋

●指導者の声

練習回数について

- ・生徒たちは、様々な事情により、毎回の参加が難しいので、実施日を増やせば、参加の可能性が広がる。
- ・回数が多ければ良いというものではありませんが、月2回は少なく感じます。

練習会場について

- ・会場が遠い。
- ・親の送迎がないと参加できない生徒がいる。
- ・練習に必要な用具が不足している。
- ・ヒーターや冷風機を利用することも検討いただきたい。

連絡アプリについて

- ・生徒達の目標が一覧出来る機能が欲しい。
- ・アプリを活用することにより、スムーズな運営に繋がりました。
- ・連絡などを記載後に相手が既読したか、わかるようにしてほしい。

地域クラブ活動に対する要望や意見

- ・指導者の確認や報告等、事務的な仕事を誰が何処までやるのかを明確にしてほしい。
- ・全てのレベルの生徒を同じ枠組みの練習で取り組むことに難しさを感じています。習熟度別の練習を行える環境が今後は必要になると思います。
- ・地域クラブ活動の指導者と、学校顧問の先生が練習内容や、生徒たちの意見等を共有出来れば良いと思います。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 学校と連携して、地域クラブ活動で利用する学校施設の鍵の管理や用具の使用、保管について説明したほか、活動予定の情報(活動日程・参加者数)を共有した。
- 学校施設及び学校備品の使用は、学校教育に支障が生じないよう、連絡・調整を行った。

取組の成果

- 学校との調整により、以下の表のとおり、学校施設を活用した地域クラブ活動を実施することができた。

1月末現在

地区/種目	剣道	男子バレー	女子バレー	男子バスケ	女子バスケ
曜日/時間	土曜日 9時～12時	土曜日 13時～16時	土曜日 ①13時～16時 ②13時30分～16時30分	土曜日 9時～12時	土曜日 9時～12時
会場	西中柔剣道場	大里小体育館	①千塚小体育館 ②城南中体育館	北西中体育館	上条中体育館
実施回数	9回	7回	9回	10回	9回

今後の課題と対応方針

- 小学校を活動場所として実施した場合、部活動で使用している中学生用ボールや備品等が小学校にはないため、別途購入したり、近隣の中学校から運搬しなければならない。今後については、利用ルールを策定する中で学校施設を活用する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

部活動の地域移行を進めるにあたり、令和4年度に設置した検討委員会を数回に渡り開催する中で、移行方法、地域クラブの運営方法等について、委員から意見をいただきながら、各種要綱やマニュアル等を定めてきた。また、学校施設の利用調整、参加者の募集、各競技団体からの指導者の推薦をしていただく等、多くの方々の協力をいただく中で、(ア)～(キ)の取組を進め、昨年8月から3種目の地域クラブをスタートさせることができた。

(ア) 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- 総括コーディネーターを中心に、校長会・教頭会等との連絡調整を行ったほか、周辺自治体と意見交換や情報共有を行った。
- 地域クラブ活動の設置及び運用について、「甲府市休日地域クラブ設置及び運用要綱」を制定した。
- 生徒・保護者・指導者との円滑な連絡・情報共有に資するシステム（アプリ）導入に向けたサウンディング市場調査を実施した。

(イ) 指導者の質の保障・量の確保

- 指導者の取扱いに関し必要な事項を定めた「甲府市地域クラブ活動における指導者取扱要綱」を策定した。
- 競技団体から推薦をいただき、当該要項に基づく指導者の委嘱を行い、必要な指導者数を確保することができた。
- 参加生徒が安全で安心な活動を行うために、天候等に関する警報や災害の発生、活動中の事故等、緊急時における「地域クラブ活動」の実施判断基準及び対応に係わる基本的な考え方を「甲府市中学校地域クラブ活動危機管理マニュアル」を策定した。
- 指導者研修会を実施し、指導者の質の向上に努めた。

(ウ) 関係団体・分野との連携強化

- 令和7年度における新たな移行種目の検討にあたり、民間事業者や競技団体との協議を行った。
- 地域クラブの運営に伴う業務量の増加（生徒異動管理・指導者労務管理）に対応するため、民間連携の可能性について意見交換を行った。

(エ) 面的・広域的な取組

- 地域クラブは、市内4ブロックに分割して設置することを基本とし、参加者数や指導者との協議等により、適正数を配置することとした。

(オ) 内容の充実

- 令和7年度における新たな移行種目を見定めるため、小学6年生から中学2年生を対象としたアンケート調査を行った。
- 地域クラブ活動の課題把握と改善を図るため地域クラブの参加者、保護者、指導者を対象としたアンケート調査を行った。

(キ) 学校施設の活用策

- 地域クラブの会場となる学校と鍵の管理・保管や備品等の使用等にかかる綿密な協議を行った。
- 学校施設及び学校備品の使用にあたり、学校教育に支障が生じないよう連絡・調整を行い、学校施設を活用した活動ができた。

総括・成果の評価・今後に向けて

● 成果の評価

(ア) 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- 総括コーディネーターを配置したことにより、学校、小中体連、競技団体と効果的な連携が図ることができた。
- 「甲府市休日地域クラブ設置及び運用要綱」を制定し、地域クラブ活動の要件や基準等を明確化する中で運営体制を整備した。
- サウンディング調査を実施したことにより、地域クラブ運営業務の効率化に向けたICTの活用について意見交換を行った。

(イ) 指導者の質の保障・量の確保

- スポーツ協会、競技団体、スポーツ少年団との連携により、指導者を推薦してもらうことができた。
- 兼職兼業の教員の受け入れにより一定の指導者を確保できた。
- 「甲府市地域クラブにおける指導者取扱要綱」を制定し、指導者の役割や心得について明確化することができた。
- 指導者研修会を開催することで、スポーツインテグリティの向上が図られた。

(ウ) 関係団体・分野との連携強化

- 専門部、競技団体との連携により、制度の周知、指導者の確保において円滑に進めることができた。

(オ) 内容の充実

- 生徒が参加したい地域クラブが把握でき、令和7年度に向けて必要となる会場数・指導者数のめどが立った。
- 本年度実施した地域クラブの運営内容について、課題、改善点等を把握することができた。

(キ) 学校施設の活用等

- 全ての地域クラブで学校施設を活用した活動が実施された。

● 今後に向けて

- (仮称) スポーツ協議会の設置に向けた準備に着手。
- 運営支援システム(アプリ)の導入に向けた準備に着手。
- 指導者全員が参加できるオンライン研修の開催を検討。
- 運営業務の効率化に向けた民間連携を検討。
- 中学生とスポーツ少年団と一緒に活動できる環境の検討。
- スポーツ推進委員と連携した運動・スポーツ体験機会の創出。
- 令和8年度までに全13種目の休日学校部活動を地域移行する。
- 様々なスポーツが体験できるマルチスポーツクラブの設置を検討する。
- 適宜、生徒・保護者・指導者の一把握に努める。
- 生徒・保護者・指導者のニーズに応じた地域クラブ活動を目指す。

2.実証内容と成果③

募集チラシ・アンケート調査資料

令和6年5月13日から17日の期間において、中学1、2年生に向けて学校を通じ、部活動地域移行に係る参加者募集チラシの配布を行った。

令和6年9月に市内の小学6年生から中学2年生まで3,715人を対象に令和7年度に地域クラブに参加したい種目について、アンケート調査を実施。競技団体と協議を実施し、部活動地域移行を目指す。

令和6年5月13日

甲府市中学校「地域クラブ活動」 参加者募集



甲府市では、令和6年8月より「剣道」「バレーボール」「バスケットボール」の3種目で、休日の活動の一部を「地域クラブ活動」へ移行します。市内を4地区に分け、中学校1、2年生を対象に月2回程度「地域クラブ活動」を行います。参加を希望する中学生の皆さんは、内容を確認して申し込んでください。

- ◇日時 … 令和6年8月開始予定、休日月2回程度の合同練習
- ◇場所 … 甲府市内の中学校他
- ◇対象 … 市内国・市立中学校1,2年生で剣道、バレーボール、バスケットボールの活動を希望する中学生
- ◇指導者 … スポーツ団体指導者、スポーツ少年団指導者、部活動指導員、教員、大学生等
- ◇経費 … 令和6年度は先行実施のため、市で負担します。令和7年度以降の「地域クラブ活動」に係る経費は、受益者負担とする予定です。
- ◇申込方法 … 右のQRコード、または甲府市ホームページから指定URLにアクセスし、必要事項を入力して、令和6年5月31日までに申し込んでください。



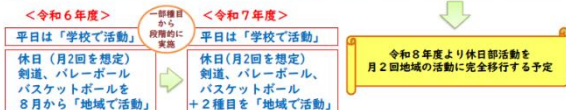
甲府市中学校「地域クラブ活動」のQ&Aが甲府市教育委員会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



部活動の地域移行を目指すこと

少子化の影響により部員数が減少し、部活動が存続できないなどの問題が生じている。今日では教育問題が多様化・複雑化しており、教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは教師にとって過重な負担になっている状況がある。部活動として行ってきたスポーツ・文化芸術活動を生涯にわたって持続可能なものにするために活動環境を整備することが、今後の部活動の地域移行に求められている。本市の地域移行では、次の5つを目指す指針として考えている。

- 部活動の地域移行を目指す5つの指針
- スポーツ・文化芸術活動を通して、自主性・主体性を伸ばす
 - 交流の軸を広げるとともに、責任感や競争意を学ぶ
 - スポーツ・文化芸術活動に親しみ興味・関心を高める
 - 生涯にわたって取り組めるスポーツ・文化活動を見つける
 - 人材活用により、教職員の働き方改革推進につなげる



【参加募集チラシ】

【出典:甲府市教育委員会】

【令和7年度甲府市中学校「地域クラブ活動」予備調査まとめ】

調査項目	
1	所属学校
2	学年
3	性別
4	(中学生のみ) 現在所属部活動
5-1	(小学生のみ) どの部活動に入りたいか
5-2	5-1で「その他」を選んだ人は、何の部活動に入りたいか。
6-1	4または5-1・2の活動以外で、今活動しているまたは今後体験してみたいスポーツや文化芸術活動はあるか。
6-2	6-1で「ある」と答えた人は、活動名は何か。
7-1	「地域クラブ活動」で参加したい部活動
7-2	7-1で「その他」を選んだ人は、何の活動か。
7-3	7-1で「ない」を選んだ人の理由
8	地域クラブ活動では、「仲間をふやす」「新しい種目にチャレンジする」「今やっている部活動の技術を更に向上させる」ことを目的に、皆さんの活動を応援していきます。皆さんにとって、どのような地域クラブ活動であってほしいですか。自由に意見や質問、心配事を書いてください。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【女子バスケットボール】



【女子バレーボール】

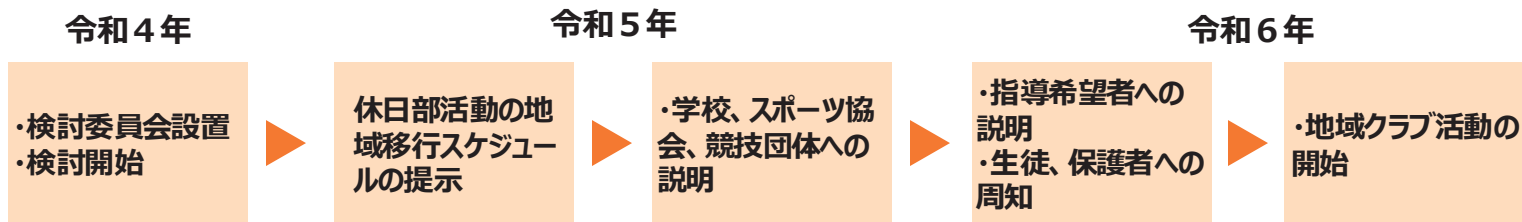


【男子バスケットボール】



【剣道】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、競技団体、市教委、総括コーディネーター

経過

令和4年度から検討委員会を設置し、市教委を運営主体とした地域クラブ体制を令和8年までに構築するスケジュールを示した。

令和6年度は、運営主体である市教委が、「甲府市休日地域クラブ設置及び運用要綱」（令和6年8月）及び「甲府市地域クラブ活動における指導者取扱要綱」（令和6年6月）を制定し、地域クラブの運営を開始した。

実施内容

(1)実施方法

- ・1クラブあたりの参加者上限数は、概ね40名とする。
- ・参加者数に応じ、市内4つのブロックで分割することを基本とする。
なお、参加数等に応じて、合同ブロックでの実施も柔軟に対応する。
- ・実施回数は月2回程度とし、1日3時間までとする。

(2)対象生徒

- ・市内国公立中学校に在学している生徒及び私立中学校に在学している本市民
- ・傷害保険・損害賠償責任保険への加入（R7まで公費負担）
- ・随時受付（年度単位）

実施にあたって生じた課題

- 学校施設の備品等を使用するにあたり、PTAや保護者会の会費で購入したものを地域クラブ活動で使用することに対する理解が得られない。
- 生徒や保護者に対して地域クラブ活動の制度や趣旨について周知が行き届いていない。
- 市の推進計画又はガイドラインが策定されていないため、現状、国や県の計画等に沿った取り組みにより実施している。

今後の展開

改革推進期間最終年度の令和7年度は、既存の地域クラブに2種目程度の地域移行を実施し、令和8年度には休日の運動部活動を地域クラブに完全移行を目指す。完全移行時期を目途に受益者負担へと切り替えていく必要があることから、適正な負担金額の設定に努めるとともに、受益者負担の必要性について保護者に向けた説明が必要であり、合わせて、経済的困窮世帯への対応策を検討する。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

項目	担当課	取組内容・方向性等		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度(以降)
①コーディネーターの配置	学校教育課	○総括コーディネーターの配置 ○コーディネーターの継続的な配置体制の構築		
	スポーツ課	○スポーツコーディネーターの配置体制の構築 ○職務等の打ち合わせ	○スポーツコーディネーター任用	○コーディネーターの継続的な配置体制の構築
	生涯学習課	○文化コーディネーターの配置体制の構築 ○職務等の打ち合わせ		○文化コーディネーター配置決定
②検討委員会等の設置・運営	学校教育課	○検討委員会の開催(年3回程度) ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議		
	スポーツ課	○スポーツ協議会要綱の策定	○スポーツ協議会メンバーの選定	○検討委員会の課題の検討・協議改善
	生涯学習課	○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定		
③運営体制の構築	学校教育課	○各学校との打ち合わせ ○子どものニーズ調査(参加者) ○「地域クラブ活動」実施種目アンケート調査(生徒・保護者・教職)		
	スポーツ課	○運営団体の検討 ○運営方針の検討 ○実施主体の検討 ○実施内容等の検討	○地域クラブ3種目の活動開始(剣道、バレー、バスケット) ○地域クラブ8種目の活動開始	○地域クラブ13種目の活動開始
	生涯学習課	○実施主体の検討・決定 ○実施内容等の検討・決定		○実施主体を整備 ○運営体制・実施体制の再検討 ○本格的な地域クラブ活動実施に向けた取組
④指導者の確保	学校教育課	○指導者説明会と募集(種目団体との連携) ○指導者研修会の検討・開催		
	スポーツ課	○各種団体との協議 ○指導者研修会の検討・開催	○指導者募集(兼職就業希望の把握) ○指導者の募集 ○指導者決定と委嘱 ○種目団体との連携 ○指導者研修会の開催 ○指導状況の把握	
	生涯学習課	○各種団体との連携(吹奏楽) ○指導者決定と契約 ○種目団体との連携 ○指導者研修会の検討 ○指導者研修会の開催 ○指導者の決定 ○指導状況の把握		
⑤活動場所の確保及び管理運営	学校教育課	○各学校との連絡・調整 ○使用施設の把握・調整 ○使用施設のマニュアル等の作成・周知		
	スポーツ課	○参加人数によるブロック分け ○各種団体との調整 日程表の作成	○各学校等との調整 ○使用施設の把握・調整	○地域クラブ活動から出た課題の検討
	生涯学習課	○使用施設のマニュアル等の作成・周知		
⑥予算・財源の確保(保護者負担等)	学校教育課	○令和7年度以降の予算確保		
	スポーツ課	・国の実証事業の受託(7年度まで) ・検討委員会運営費 ・コーディネーター人件費 ・指導者謝金 ・連絡アプリの導入 ・消耗品等の購入 ・指導者資格取得の補助		
	生涯学習課	※収支を分析。受益者負担額等を検討		
⑦関係者への周知	学校教育課	○市の基本方針等に関する周知 ○運営団体・実施主体の具体的な取組を周知(運営方針、実施内容、地域クラブ活動の規定等) ○実施される地域クラブ活動に関する周知(参加者募集、指導者募集、協力のお願いや等)		
	スポーツ課	○市の基本方針等に関する周知 ○運営団体・実施主体の具体的な取組を周知(運営方針、実施内容、地域クラブ活動の規定等) ○実施される地域クラブ活動に関する周知(参加者募集、指導者募集)		
	生涯学習課	○市HPから随時情報発信(地域移行チラシ、地域クラブ活動紹介、活動の様子紹介)		

「地域クラブ活動」の完全実施(週末2回程度)の実施を目指す

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県 都留市

自治体名：山梨県都留市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0554-43-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	161.63 km ²
人口	28,531 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	628 人
部活動数	32 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

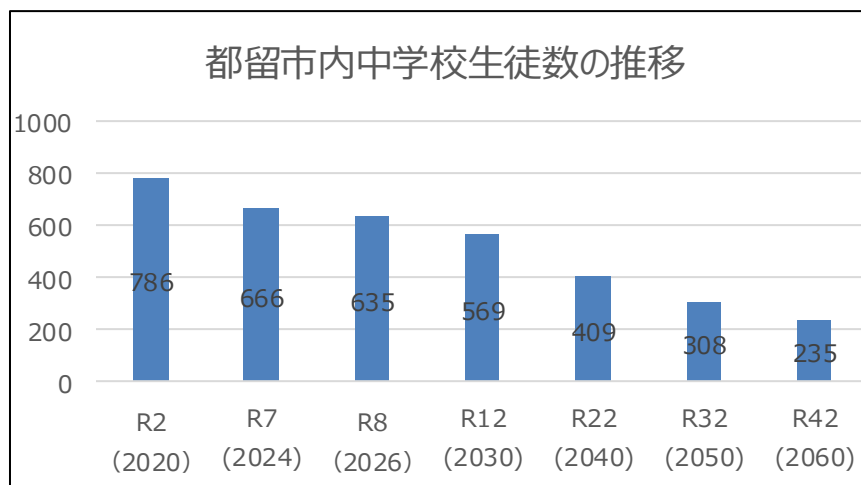
現在、本市には3校の公立中学校があり、生徒数628人で32の運動部活動が活動を行っている。

少子化に伴い、野球部・ラグビー部・バレーボール部（女子）で、市内外の中学校と合同チームによる活動を実施している。また、サッカー部やソフトボール部の新規入部募集停止や活動休止を行った学校がある。

今後の市内中学校生徒数の推移を見ると、特に団体スポーツの存続は、困難であると考えられる。

また、本市が地域クラブ活動への移行を推進する上で、課題となることの 하나가、指導者の確保である。県の人材バンクの活用を図っていくとともに、持続的な体制づくりを進めるためには、地元の指導者の確保が大事であり、スポーツ協会等の関係機関との連携強化にも力を入れたい。

さらに、本市は山間地にあり、本市単独で運営体制を整備することには課題が多い。子供たちが継続的にスポーツに親しむことができる環境整備に取り組んでいきたい。



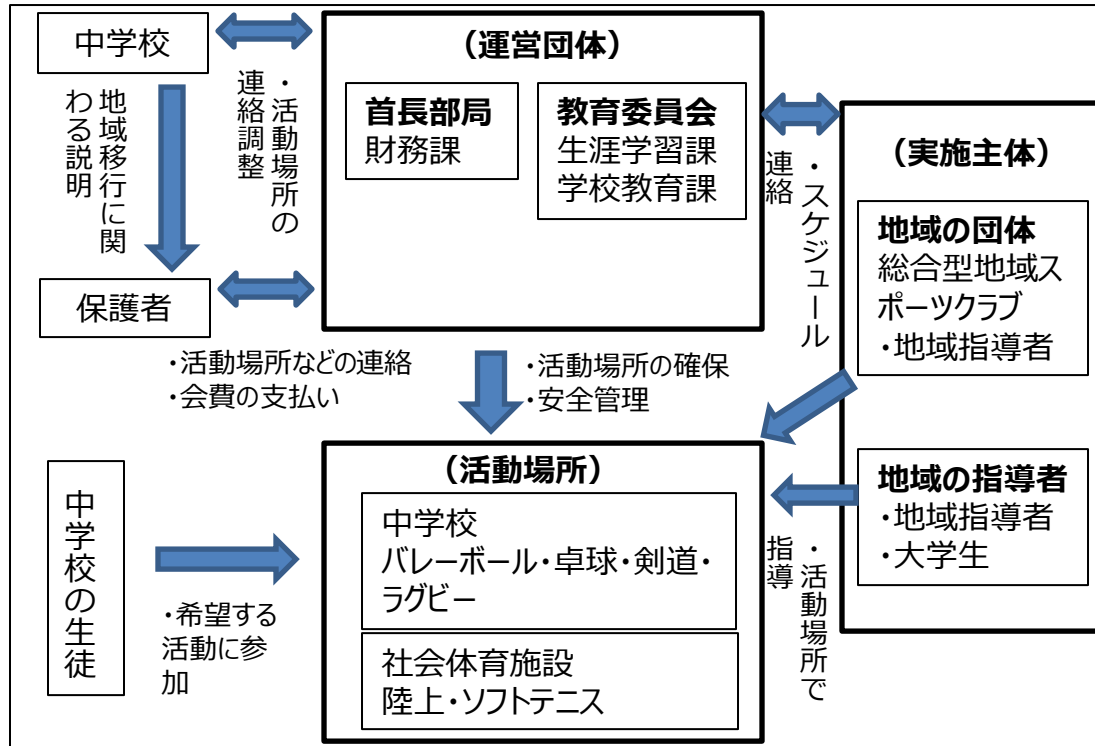
(出典：都留市人口ビジョンにより)

【課題】
生徒数の減少
指導者の確保
運営体制の整備

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- 生涯学習課…地域協議会の開催、地域クラブ活動の運営、地域クラブ活動の周知等
- 学校教育課…生徒・保護者に関する事項、教員の兼職兼業の手続き等

◎首長部局

- 財務課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年 4月	地域クラブ活動に関する保護者アンケートを実施
令和6年 6月	第4回都留市地域クラブ活動推進協議会の開催 都留市地域クラブ活動保護者等説明会の開催
令和6年 7月	都留市地域クラブ活動指導者説明会研修会の開催
令和6年 8月	地域クラブ活動指導者との面談
令和6年10月	第5回都留市地域クラブ活動推進協議会の開催 地域クラブ活動募集開始
令和6年12月	都留市地域クラブ活動の開始（4種目） 地域クラブ活動追加募集開始
令和7年 1月	都留市地域クラブ活動の開始（2種目）
令和7年 2月	第6回都留市地域クラブ活動推進協議会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6クラブ（17部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	20人	全体の運営スタッフ数	6人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
都留市地域クラブ活動 (陸上競技)	総合型地域スポーツクラブ	陸上競技 (新)	月2回	15:00 ~17:00	1年1名	R6.12~	やまびこ競技場 (都留市民総合体育館)	2人	0人	年会費 800円	中体連：部活動 その他：部活動
都留市地域クラブ活動 (ソフトテニス)	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス (新)	月2回	9:00 ~12:00	1年24名 2年11名	R6.12~	都留市営テニスコート	6人	0人	年会費 800円	中体連：部活動 その他：部活動
都留市地域クラブ活動 (バレーボール)	市が設立した地域クラブ活動	バレーボール (新)	月2回	15:30 ~18:00	1年14名 2年3名	R6.12~	都留第一中学校体育館	4人	0人	年会費 800円	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
都留市地域クラブ活動 (卓球)	市が設立した地域クラブ活動	卓球（新）	月 2 回	9：00 ～12：00	1年5名 2年3名	R6.12～	東柱中学校体育館	3 人	0 人	年会費 800 円	中体連：部活動 その他：部活動
都留市地域クラブ活動 (剣道)	市が設立した地域クラブ活動	剣道（新）	月 2 回	8：00 ～11：00	1年2名 2年5名	R7.1～	都留第二中学校記念館	2 人	0 人	年会費 800 円	中体連：部活動 その他：部活動
都留市地域クラブ活動 (ラグビー)	市が設立した地域クラブ活動	ラグビー（新）	月 2 回	9：00 ～12：00	1年1名 2年3名	R7.1～	都留第二中学校グラウンド	3 人	0 人	年会費 800 円	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

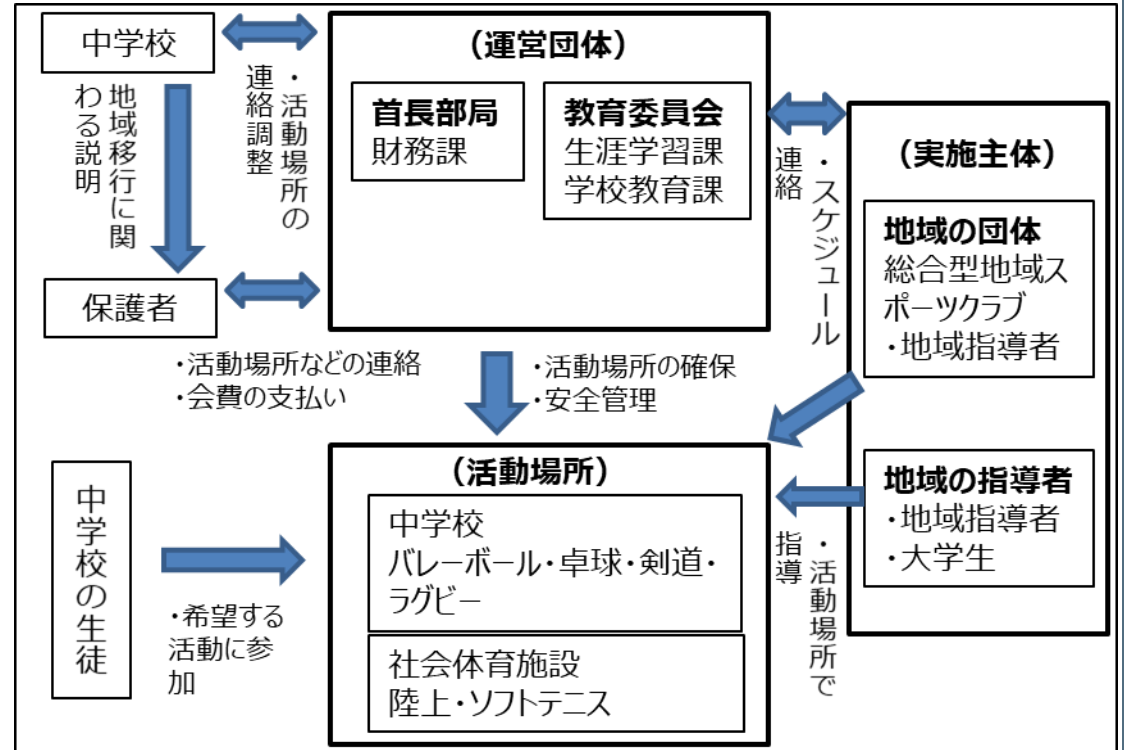
2.実証内容と成果

主な取組例

● 都留市地域クラブ活動 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、ソフトテニス、バレーボール 卓球、剣道、ラグビー
運営団体名	都留市教育委員会（生涯学習課）
期間と日数	陸上競技、ソフトテニス、バレーボール、卓球 R6.12～ 月2回 剣道、ラグビー R7.1～ 月2回
指導者の主な属性	各競技経験者、協会関係者
活動場所	市内中学校施設、やまびこ競技場、都留市 営テニスコート、下谷体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	年額800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 総括コーディネーター
役割：活動全体を総括し、地域クラブ活動の運営を行う
- 指導者 各種目ごと2～6名
役割：生徒への指導を行う、保護者等への連絡を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○広域的な活動を行う総括コーディネーター等を配置し、関係団体・市との連絡調整・指導助言等を行う。
○中学校区でコーディネーターを配置し、運営団体・実施主体と中学校の連絡調整等を行う。
○運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。
○部活動の地域連携を踏まえながら総合的に捉えて、部活動の地域移行を進めていく。

取組の成果

○教育委員会内に総括コーディネーターを配置したことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
○各中学校に中学校コーディネーターを配置し、地域クラブ活動と中学校の連絡調整等ができる体制を整備した。
○PTA代表やスポーツ・文化関係団体代表に、地域協議会の委員を委嘱し、運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営体制が整備できるように取り組んだ。
○地域の実情を踏まえ、部活動指導員や外部指導者等に地域クラブ活動の指導者を依頼し、地域クラブ活動への移行を推進することができた。



都留市地域クラブ推進協議会

総括コーディネーターの具体的な動きの実績

○各地域クラブ活動を毎月巡回し、活動状況の把握に努めた。
○地域協議会を年3回実施するとともに、関係団体との連携に努めた。
○保護者説明会・指導者研修会の実施、生徒・教員・新入生の保護者等への説明、ホームページの更新など、地域クラブ活動の理解を深める取組を行った。

今後の課題と対応方針

○地域クラブ活動を開始したばかりのため、生徒・保護者・学校等への活動内容の周知が不徹底な面があるように感じる。より一層周知に努める。
○将来的には、運営主体を別の団体に委託することを検討している。スムーズな業務委託ができるよう、準備を進めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○県に設置されている人材バンクを活用し、指導者を確保する。
 ○スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、競技団体、大学等と連携し、指導者を確保する。
 ○指導者等の確保ができた活動から地域クラブ活動への移行を検討し、実施する。
 ○市が主体となり指導者に対して安全対策等に関する研修を実施する。
 ○市において、指導者の暴力等の問題が見られた場合への対応として相談窓口を設置する。

人材バンクの人数

46名

人材バンクの年齢構成

10代	7名
20代	15名
30代	5名
40代	6名
50代	8名
60代以上	5名

登録者属性

男性	37名
女性	9名
職業	
大学生	19名
会社員	12名
自営業	6名
教員	4名
その他	5名

種目

- ・陸上競技
- ・ソフトテニス
- ・バレーボール
- ・卓球
- ・剣道
- ・ラグビー

資格有無

- ・ソフトテニス指導員
 - ・剣道指導員
 - ・ラグビー指導員
- 等の資格をすでに取得している指導者がいる

取組の成果

- 6種目の指導者20名を確保した。山梨県人材バンクからは8名を任用し、その他の指導者は部活動指導員や外部指導者など、すでに各中学校で部活動指導に携わっている方に指導者になっていただいた。
- 令和6年7月に、地域クラブ活動での指導を希望する指導者の方を対象に、指導者研修会を実施した。26名が参加した。
- 関係団体等と連携し、指導者を確保する体制整備に取り組んだ。
- 都留市地域クラブ活動指導方針・都留市地域クラブ活動の指導手引き・都留市地域クラブ活動安全管理マニュアルを作成し、研修会を行った。
- 指導者の不適切な指導等に対する相談窓口の設置に向け、検討を始める予定である。

都留市地域クラブ活動

- ①都留市地域クラブ活動基本方針 ……1
- ②都留市地域クラブ活動の指導手引き ……3
- ③安全管理マニュアル ……10

都留市地域クラブ活動推進協議会
都留市教育委員会

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

○「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」や「都留市地域クラブ活動基本方針」をもとに、地域クラブ活動の目的などを確認した。

○都留市地域クラブ活動推進協議会で決定された都留市地域クラブ活動の基本的事項を伝達した。

○指導者の募集要件と職務内容を確認し、理解を深めた。

○都留市教育委員会として指導者の方々にお願いしたいことを伝えた。

（楽しい活動、さまざまな体験、個の発達段階に応じた指導など）

○「都留市地域クラブ活動の指導手引き」や「都留市地域クラブ活動安全管理マニュアル」を利用し、指導の留意点やけが・事故等が発生した際の対応について研修した。

指導者研修の参加実績

○開催日： 7月18日

○開催回数： 1回

○参加人数： 26人

初めての研修会であるため、都留市地域クラブ活動についての理解を深めることと、実際に指導を行う上で留意する事項を中心に研修会を実施した。

受講者の声

種目	フロアボール	ソフトテニス	ラグビー	卓球	バレーボール
参加者数	7	4	4	2	2
種目	サッカー	野球	剣道	陸上	空手
参加者数	2	2	1	1	1

指導者研修会競技別参加者数

○地域クラブ活動のねらいや活動内容などがわかった。

○「指導手引き」や「安全管理マニュアル」を参考にして、指導を行いたいと思った。

○思春期の生徒が対象なので、上手に指導できるか不安もある。

今後の課題と対応方針

○地域クラブ活動の指導者が不足している。また、すべての種目の指導者を確保することが難しい。スポーツ協会等の団体にも依頼し、指導者の確保に努める。

○指導者の質の保障のための研修の実施に取り組む。各種目の資格取得者が大変少なく、指導者の質の保障に課題を感じる。資格取得を進める取組について検討を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

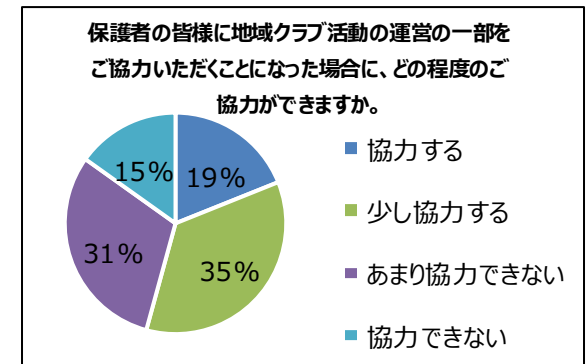
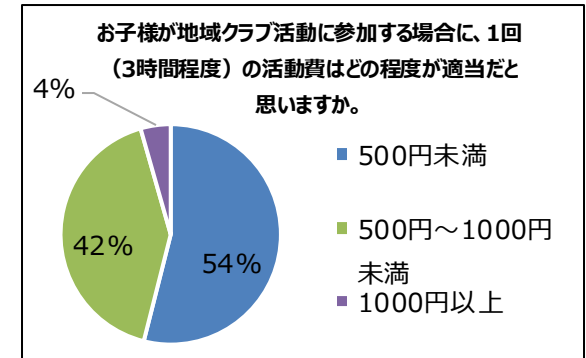
- スポーツ協会、競技団体、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、大学等との連携に関する取組
- 指導者の派遣、民間施設の利用、研修教材の提供・講師派遣などについて連携する。

取組の成果

- 学校との連携強化を図るため、校長会やPTA連合会の場で地域クラブ活動についての説明を行った。各学校を訪問し、先生方との意見交換の場を持った。
- 保護者等説明会や新入生説明会で、地域クラブ活動についての説明を行い、保護者等の理解を深める取組を行った。
- 地域クラブ活動保護者アンケートを実施し、保護者の意見把握に努めた。
- スポーツ協会・総合型地域スポーツクラブ・大学等と連携し、指導者の派遣や施設の利用、研修教材の提供などに取り組んだ。
- スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブに運営団体や実施主体を委託するための話し合いなどに取り組んだ。

今後の課題と対応方針

- 生徒や保護者、学校関係者との話し合いを通して、部活動と地域クラブ活動の連携の必要性を感じる。生徒の活動に支障が生じないように、情報共有にさらに力を入れていきたい。
- スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、大学等の関係団体との話し合いを通して、地域クラブ活動の理解を深める取組の必要性を感じた。さまざまな話し合い等を通して、より多くの方々に地域クラブ活動の周知を図っていきたい。



（出典：地域クラブ活動アンケートより）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○近隣市町村中学校との合同による部活動等について検討し、共同で行う地域クラブ活動の体制整備についての協議を開始する。

○近隣市町村等に本市の地域クラブ活動の実践事例を発表し、地域クラブ活動への移行の取組を促進する。

取組の成果

○本市の中学校の中に、隣村の道志中学校との合同チームとして活動を実施している部活動がある。今後、共同での地域クラブ活動の実施を含め、協議を始める。

○次のような場で、本市の取組を発表した。

令和6年7月16日 道志中学校校長・教頭意見交換会
令和6年10月7日 兵庫県稲美町視察
令和6年11月6日 南都留教育フォーラム
令和6年11月29日 山梨県スポーツ指導者協議会南北都留合同支部研修会
令和7年1月8日 富士吉田市地域移行意見交換会
令和7年2月25日 山梨県総合型地域スポーツクラブ

今後の課題と対応方針

○道志村との共同での地域クラブ活動の実施に向けては、参加希望生徒の有無、生徒の移動方法、費用、活動場所等、多くの課題が予想される。生徒の活動に支障がないように体制整備に取り組みたい。

○本市の地域クラブ活動の取組をさまざまな場で発表してきた。さまざまな方からいろいろな意見もうかがった。それらの意見等を今後の体制整備に生かしていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○これまでに実施した児童、生徒へのアンケート調査に基づき、生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。
 ○複数の種目を実施できるよう、誰でも参加できる地域スポーツクラブ活動の実施に向けて検討を進める。
 ○誰もが楽しめるスポーツ体験教室を実施する。
 ○大学生以上の大人と合同で行う活動を進める。

活動の詳細			
参加人数	約50人（中学生1名）	指導者数	約15人
属性	総合型地域スポーツクラブ（都留アスリート倶楽部）での活動		
具体的な内容	都留アスリート倶楽部陸上競技の活動に、希望する中学生が参加した。小学生から大人までと一緒に陸上競技に取り組んだ。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 都留文科大学陸上部の学生が指導者で、指導がわかりやすかった。 ● 専門的な指導を受けたい競技の指導を受けることができた。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 本クラブの活動は、小学生から大人までと一緒に活動するところがよさだと思う。 ● 都留文科大学陸上部の学生の協力があり、大変助かっている。 		
運営経費	個人負担：生徒保険代（800円） その他の費用：指導者の報酬（1人1時間1600円）		

取組の成果

○地域クラブ活動の参加希望者を募集する際に、「希望者」であることを強調し、募集を行った。
 ○今年度6種目の地域クラブ活動を設立したが、複数の種目に参加することもできるような募集方法にした。
 ○誰もが楽しめる体験教室は、スポーツ推進委員の活動などで取り組んでいる。
 ○上記活動のように、世代を超えた活動を行うことができた。

今後の課題と対応方針

○本市の中学生は、部活動を行っている生徒が多く、休日に他の活動に取り組む生徒は少ない。今後さまざまな体験機会の確保に取り組んでいきたい。
 ○本市は、市内に2つの大学が設置されている。大学生との合同練習や指導者としての協力などにも取り組んでいきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 地域スポーツクラブ活動のために学校施設を使用する場合の優先利用や使用料減免等の仕組みを検討する。
- 総括コーディネーターが、学校施設や道具等の使用について調整を行った。

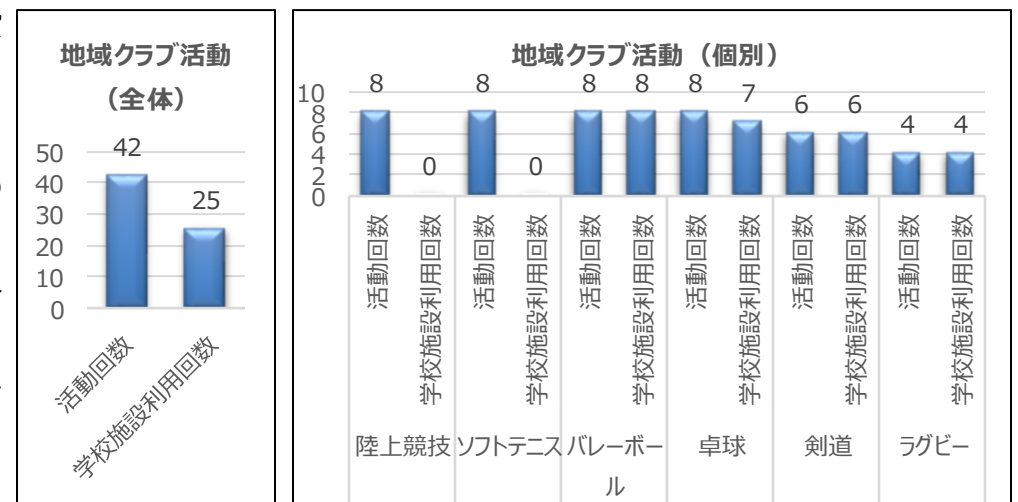
取組の成果

○バレーボール・卓球・剣道・ラグビーの4種目については、主に学校施設を会場として使用した。ソフトテニスは、学校施設と共用の市営テニスコートを使用した。（市営テニスコートは社会体育施設としてカウントした）
 全42回の活動の内、学校施設の使用は25回で、使用率は59.5%だった。

○学校施設や道具の使用について、総括コーディネーターが学校と連絡を取り、調整を行っている。

○学校施設の体育館については、入口の鍵をキーボックスで管理する方法に変更したが、今のところ大きなトラブルは発生していない。

地域クラブ活動学校施設使用状況



(出典：都留市地域クラブ活動より)

今後の課題と対応方針

○学校施設を使用して地域クラブ活動を実施した際に、別種目の部活動と会場の使用が重なったことがあった。今後も、学校との連絡調整を確実に行っていきたい。

○現在地域クラブ活動の道具は、学校部活動のものを借用している。学校施設の鍵のかかる場所での道具の管理を検討していきたい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○今年度12月より、陸上競技・ソフトテニス・バレーボール・卓球・剣道・ラグビーの6種目について、休日の部活動の一部を地域クラブ活動に移行することができた。

○令和7年1月末時点で、73名の生徒が地域クラブ活動への登録を終え、活動を行っている。

○今年度3回の都留市地域クラブ活動推進協議会を実施し、地域クラブ活動の体制整備に取り組むことができた。

○保護者等説明会や指導者説明会研修会、各学校での地域クラブ活動の説明会、新入生説明会、PTA連合会総会、都留市ホームページなど、いろいろな場で地域クラブ活動の周知を図る取組を行った。

○南都留教育フォーラムや山梨県スポーツ指導者協議会研修会、総合型地域スポーツクラブ情報交換会などで、本市の実践事例を発表した。

○運営団体や実施主体を他の団体等に委託するための準備に取り掛かった。

●成果の評価

○今年度地域クラブ活動への移行を予定していた7種目の競技の内、6種目の競技の地域クラブ活動を開始することができた。残り1種目は、地域連携の活動を継続することになった。

○保護者等説明会や指導者説明会研修会、学校での説明会等を通して、地域クラブ活動の理解を深めることができた。

○都留市地域クラブ活動基本方針や都留市地域クラブ活動指導手引き、安全管理マニュアルを作成した。

○南都留教育フォーラムや山梨県スポーツ指導者協議会研修会、総合型地域スポーツクラブ情報交換会などで、本市の取組を発表し、地域クラブ活動の理解と関係機関間の連携強化に取り組むことができた。

●今後に向けて

○まだ地域クラブ活動への移行が終わっていない部活動が5種目ある。できるだけ早期に休日部活動の地域クラブ活動への移行を進めていきたい。

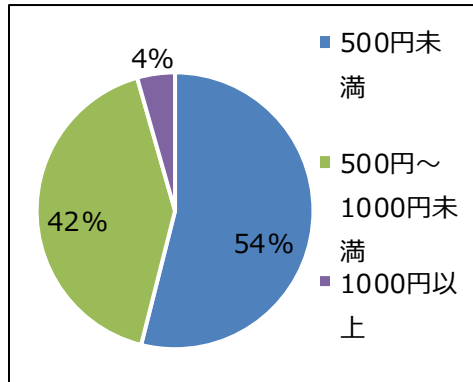
○指導者の確保に課題がある。指導者の量の確保と質の保障の両面の取組をより一層進めていきたい。

○運営団体や実施主体を他の団体に委託していくために、関係団体等との話し合いを始めていきたい。

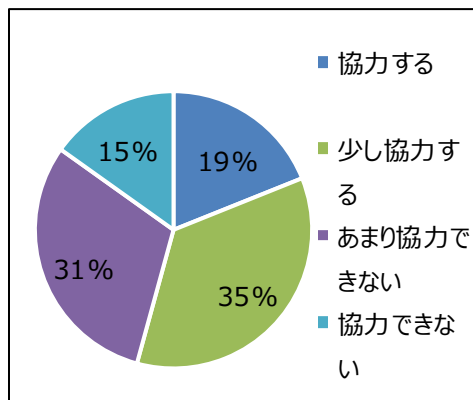
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q:お様が地域クラブ活動に参加する場合に、1回（3時間程度）の活動費はどの程度が適当だと思いますか。



Q:保護者の皆様に地域クラブ活動の運営の一部をご協力いただくことになった場合に、どの程度のご協力ができますか。



出典：都留市地域クラブ活動アンケート結果
(R6.4.1～4.27実施)

●保護者等説明会 参加者の質問事項（R6.6.30実施）

保護者

学校部活動の地域クラブ活動への移行によって、学校という公的機関の活動から、私的な地域の活動に変わるとのことですが、例えば、総合体育大会などの大会は、同じように公的な機関の大会から私的な大会に変わるとのことでしょうか。

保護者

子供が所属している部活動で、大会の要項がはっきりしていないために、部活動ではない地域としての大会参加は認めていませんと言われました。地域クラブ活動への移行に合わせて、大会要項との見直しも行ってほしいです。このケースのように、大会に出ることができなくなる生徒が出ることは、絶対に避けてほしいです。

保護者

地域クラブ活動についても、大会への参加方法についても、もう少し確実な情報を保護者に流してほしいです。

保護者

地域クラブ活動で不祥事が起こった場合の責任は、どこになるのですか。安全管理の方法などもしっかり検討してほしいです。また、地域クラブ活動は競技の専門性を高めることが目的になりがちですが、もっと敷居の低いレクリエーション的な活動を行う予定はありますか。

教員

現在地域移行の過渡期で、いろいろなことが変わっていますが、子供たちの大会に出場する機会が失われるなどの状況が生まれないような体制整備をお願いします。

県コーディネーターによるまとめ

この説明会は、山梨県内初めての保護者説明会です。資料にもありますが、「新しい活動を皆さんと一緒に創る」ということを理解していただきたいと思います。また、地域移行の取組は、子どもたちが自分から進んで行きたいという活動、もっとやりたいと思う活動を創る取組だと思っています。よい形で部活動改革ができればよいと思います。

アンケート結果・広報資料

休日部活動の地域クラブ活動への移行について No.2

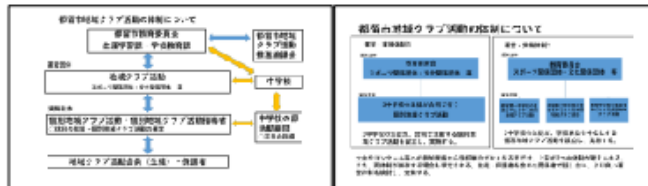
都留市教育委員会 生涯学習課
令和6年4月1日

◆都留市地域クラブ活動推進協議会より

令和5年6月10日に第1回都留市地域クラブ活動推進協議会（以下、地域協議会という）を設置し、令和6年度は3回の地域協議会を実施しました。
これまで3回の地域協議会では、次のような内容が協議されました。

- 都留市地域クラブ活動の体制について
- 都留市地域クラブ活動基本方針について
- 都留市地域クラブ活動規約について
- 団体部活動の地域移行アンケートの結果について
- モデル実践研究の実践及び反省について
- 地域移行のスケジュールについて

◆都留市地域クラブ活動の組織について



- まずは教育委員会が中心となり、次のような地域クラブ活動の体制整備を目指します。
- 都留市地域クラブ活動を設立し、全体の統括と個別地域クラブ活動等との連絡調整を行います。その運営団体は、将来的には、スポーツ関係団体や文化芸術関係団体を想定しています。
- 都留市地域クラブ活動の実施主体として、運動競技・文化芸術活動等ごとに個別地域クラブ活動を設立します。右上図のように、複数の中学校の生徒が会員で個別地域クラブ活動を行う場合や、各中学校の生徒を中心に個別地域クラブ活動を行う場合など、生徒・保護者等のニーズを考慮した体制づくりを目指します。個別地域クラブ活動は、都留市地域クラブ活動基本方針に開き、活動を行います。
- 個別地域クラブ活動の指導者は、地域の指導者や希望する教員の兼職募集などを想定しています。また、県が募集している『スポカルやまなし（やまなし地域クラブ活動等人材バンク）』の活用も検討し、指導者の確保に努めます。
- 地域クラブ活動への参加を希望する生徒は、都留市地域クラブ活動及び個別地域クラブ活動に所属し、運動競技・文化芸術活動等の活動を行います。

【生徒・保護者への啓発チラシ】

◆都留市地域クラブ活動基本方針、規約



都留市地域クラブ活動基本方針、規約の詳細は、都留市ホームページ

<https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/material/files/group/15/gidai3-4.pdf> をご覧ください。

◆地域移行のスケジュール（予定）

令和6年度 休日部活動の地域移行を検討する部				令和7年度 休日部活動の地域移行を検討する部			
部名	移行先	移行時期	備考	部名	移行先	移行時期	備考
ソフトテニス部	県	県	ソフトテニス部	ソフトテニス部	県	ソフトテニス部	県
バレーボール部	県	ソフトテニス部	バレーボール部	バレーボール部	県	バレーボール部	県
サッカー部	県	サッカー部	サッカー部	サッカー部	県	サッカー部	県
野球部	県	野球部	野球部	野球部	県	野球部	県
ソフトボール部	ソフトボール部	ソフトボール部	ソフトボール部	ソフトボール部	県	ソフトボール部	県
ソフトテニス部	ソフトテニス部	ソフトテニス部	ソフトテニス部	ソフトテニス部	県	ソフトテニス部	県

◆今後地域協議会で検討を予定している主な内容

国や県のガイドラインには、「可能な限り低廉な会費の設定」「経済的に困窮する家庭への参加費用の支援」「保険への加入」等の内容が記載されています。今後地域協議会では、次のような内容を検討する予定です。

- 活動回数、活動時間、活動開始時刻
- 経済的に困窮する家庭への支援
- 活動場所
- 保険の加入及びその費用
- 活動場所までの移動方法
- 事故発生時の対応・報告等
- 活動費等の費用

地域協議会での協議の結果、地域クラブ活動への移行を進める際には、生徒や保護者等の関係者に、改めて説明を行う予定です。
生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、今後もご支援ご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

都留市教育委員会 生涯学習課 スポーツ課担当 TEL：0554-43-1111

出典：休日部活動の地域クラブ活動への移行についてNo.2

アンケート結果・広報資料

都留市地域クラブ活動 参加者募集

都留市では、令和6年度途中より、休日の学校部活動の一部を「地域クラブ活動」に移行することを目指して、体制整備を進めています。まずは、部活動指導員や外部指導者などのすでに指導者が確保できている部活動から段階的に地域クラブ活動を行います。参加を希望する中学生の皆さんは、内容を確認し、申し込んでください。

- ☆日 時…令和6年12月開始予定、休日月2回程度の活動
- ☆場 所…都留市内の中学校他
- ☆対 象…都留市内中学校1,2年生で、対象の活動を希望する中学生
- ☆指 導 者…部活動指導員、外部指導者、都留アスリート倶楽部、
スポーツ団体指導者、スポーツ少年団指導者、教員、大学生等
- ☆経 費…保護者は保険代(800円)を負担。その他の費用は、市で負担。
地域クラブ活動への移行が終了した際は、受益者負担とする予定
- ☆申込締切…令和6年10月31日までに申し込んでください。

申込手続き



上のQRコードから指定URLにアクセス
 →「利用者登録せずに申し込む方はこちら」
 →(利用規約)「同意する」
 →(申込)必要事項を入力

陸上競技

活動日：12/7、12/21、1/11、1/18
 2/8、2/15、3/8、3/22
 活動時間：15:00～17:00
 活動場所：やまびこ競技場
 (雨天) 都留市民総合体育館

ソフトテニス

活動日：12/7、12/21、1/11、1/25
 2/8、2/22、3/8、3/22
 活動時間：9:00～12:00
 活動場所：都留市営テニスコート

バレーボール

活動日：12/7、12/15
 1月以降は後日連絡
 活動時間：9:00～12:00
 活動場所：東桂中体育館

卓球

活動日：12/8、12/22、1/12、1/19
 2/2、2/8、3/8、3/16
 活動時間：9:00～12:00
 活動場所：下谷体育館・東桂中体育館

剣道

活動日：12/14、12/21
 1月以降は後日連絡
 活動時間：8:00～11:00
 活動場所：都留二中記念館

ラグビー

活動日：12/14、12/21、1/4、1/18
 2/1、2/15、3/1、3/15
 活動時間：9:00～12:00
 活動場所：都留二中グラウンド

・地域クラブ活動の活動日・活動時間・活動場所は、変更になる場合があります。

問い合わせ先

〒402-0052 都留市中央3-9-3 教育プラザ都留
 都留市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興担当
 TEL:0554-43-1111



【生徒への参加募集チラシ】

出典：都留市地域クラブ活動 参加者募集

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【陸上競技】



【ソフトテニス】



【バレーボール】



【卓球】



【剣道】



地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、競技団体
首長部局（財務課）、市教委（生涯学習課、学校教育課）
総括コーディネーター、コーディネーター

経過

令和5年6月より都留市地域クラブ活動推進協議会を設置し、市教委が中心となり、地域クラブ活動の体制整備を推進することになった。令和7年度末を目途に地域クラブ活動への移行をめざす計画を立て、取組を進めた。基本方針や指導手引き、安全管理マニュアルを作成した。

実施内容

令和6年12月より市内3中学校の6種目の競技（陸上競技・ソフトテニス・バレーボール・卓球・剣道・ラグビー）において、月2回の休日の部活動を地域クラブ活動に移行した。陸上競技とソフトテニスは、総合型地域スポーツクラブに移行した。その他の競技は、新たな地域クラブ活動を立ち上げた。市内3中学校から希望する生徒が登録し、1月末時点で73名が活動を行っている。費用は、保険代（800円）を自己負担とし、その他の

費用は市が負担して行っている。

実施にあたって生じた課題

指導者の確保に課題があり、市内中学校に設置されている部活動のすべての種目の指導者を確保することが難しい。今後もスポーツ協会等に協力を呼びかけていきたい。

また、地域クラブ活動が始まったばかりであるため、地域クラブ活動についての理解が十分ではない面があるように感じた。理解を深める取組の実施を検討したい。

今後の展開

令和7年度末までに、休日の部活動の地域クラブ活動への完全移行をめざして取組を進める。指導者の確保が課題になるので、スポーツ協会や大学等との連携を強め、指導者の確保に取り組む。また、市内中学校で、他の市町村と合同チームを編成している種目があるので、他市町村との連携についての協議を進める。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

市町村名(都留市)		地域クラブ活動への移行に向けたロードマップ			
項目	担当課	取組内容・方向性等			
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(以降)
①コーディネーターの配置	学校教育課	○コーディネーターの決定	○コーディネーターの配置 ○コーディネーターの継続的な配置体制の構築		
	生涯学習課	○職務等の打ち合わせ			
②協議会等の設置・運営	学校教育課	○学校関係者の委員選定	○協議会の設置・開催(年3回程度) ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定		
	生涯学習課	○社会教育関係者の委員選定			
③運営体制の構築	学校教育課	○アンケート調査実施 ○子どものニーズ把握	○各学校との打ち合わせ		
	生涯学習課	○運営団体の検討○実施主体の検討 ○運営方針の検討・決定	○運営団体の検討・決定 ○実施主体の決定 ○実施内容等の検討・決定 ○地域クラブ活動の試行的・本格的な実施の検討(種目等)		
④指導者の確保	学校教育課		○子どものニーズ把握 ○教職員の兼職兼業希望の把握		
	生涯学習課	○確保方法について検討 ○各種団体との連携	○指導者の募集(スポカルやまなしの活用) ○指導者の決定・派遣 ○指導者研修会の検討・開催 ○指導状況の把握		
⑤活動場所の確保及び管理運営	学校教育課		○各学校との打ち合わせ ○各学校との調整		
	生涯学習課		○使用可能施設の把握・調整 ○地域クラブ活動実施から出た課題の検討・改善等 ・使用施設の修繕や改修		
⑥予算・財源の確保(保護者負担等)	学校教育課	○協議会に関わる予算確保			
	生涯学習課	○国の実証事業への参画による予算確保 ・協議会運営費 ・コーディネーター人件費 ・指導者謝金 等 ○コーディネーターに関わる予算確保 ○検討会に関わる予算確保 ○指導者に関わる予算確保			
⑦関係者への周知	学校教育課	○地域移行の基本情報の周知 ・学校(保護者、生徒、教員) ・地域住民 ・スポーツ団体、文化団体			
	生涯学習課	○市のHPから随時情報発信(協議会議事録、地域移行チラシ、参加可能活動クラブ紹介、活動の様子紹介 等) ○市のHPに専用ページの作成			

一つ以上の地域クラブ活動の完全実施を目指す

出典：都留市地域クラブ活動への移行に向けたロードマップ